Ri-JAPAN

IP/NETWORK CAMERA

RCC-9801

取扱い説明書

（保証書付）



アールアイジャパン株式会社

●安全にお使いいただく為に（必ずお読み下さい）

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、以下の注意事項を必ずお読みください。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、大けがや死亡事故の原因となる恐れがあります。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、大けがや物的損害の原因となる恐れがあります。

⚠警告

- 本機を分解、改造、修理をしないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
- 動作条件の範囲外で使用しないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
- 正しい電源をご使用ください（AC100V 50/60Hz）。火災、感電、故障などの原因となります。
- 開口部やすき間から異物を入れないでください。また混入していた際は直ちに取り除いてください。火災、感電、故障の原因となります。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
- 濡れた手での本体操作や電源プラグの抜き差しはしないでください。感電、故障などの原因となります。
- 使用中に煙が出ている、異臭がする等の異常がありましたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 雷が鳴り出したら本体に触れないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを無理に曲げたり、重いものを上に載せたりしないでください。電源コードに傷がついたり断線したりすると火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意

- 本機を以下のような場所で使用しないでください。
  - ○暖房機器の近くなど温度が極端に高い場所
  - ○湿気やほこりの多いところ
  - ○振動が多い場所また不安定な場所
  - ○油煙や湯気があたる場所
  - ○直射日光が当たる場所
  - ○強い磁気や電磁波が発生する機器の近く
  - ○子どもや乳幼児の手の届く場所

- お手入れの際は、シンナーやベンジンなど揮発性の化学物で本体を拭かないでください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。故障などの原因となります。

●ワイヤレス（無線）製品について

RCC-9801は2.4GHz帯全域を使用する無線設備です。電波方式には、DS-SS方式及びOFDM方式を採用しています。

2.4GHz帯は、医療機器、Bluetooth対応機器などでも使用されています。

- 本機を使用する前に、干渉範囲内に産業･化学・医療機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないか確認してください.
- 万一、本機使用中に上記との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、本機の使用を停止してください。

R 204-320081

⚠警告

- 本機を医療機関の中や医療機器（ペースメーカーや補聴器など）の近くで使用しないでください。本機の電波によりそれらに障害を及ぼす恐れがあります。
- 本機を航空機内で使用しないでください。航空機内では電子機器や無線機器の利用が禁止されており、安全運航に支障をきたす恐れがあります。
- 電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電磁波の影響により、無線通信が妨害される恐れがあります。

●ご利用上の注意事項

- 本機接続の際、その他の無線機器の周辺、電子レンジなどの電磁波が発生する機器の周囲など電波の状況が悪い環境で使用した際、接続が途切れたりすることがあります。
- 本機はすべての無線LAN機器との接続動作を確認したものではありません。
- 無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、弊社は一切の責任を負いかねます。

ご使用になっている装置にVCCIマークがついていましたら、次の説明文をお読みください。
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

MEMO

目　次

第１章：本製品について ---- 7

1.1　付属品 ---- 7
1.2　RCC9801 のご紹介 ---- 7
1.3　RCC9801 各部名称とはたらき ---- 11

第２章：PnP スーパークライアント (視聴ソフト) を使う ---- 12

2.1　PnP スーパークライアントのインストール ---- 12
2.2　PnP スーパークライアントを使う ---- 13
2.2.1 各部の名称と機能 ---- 13
2.3　カメラの登録 ---- 15
2.3.1 カメラリストへカメラを登録する ---- 15
2.3.2 グループの作成 ---- 17
2.3.3 複数のグループやサブグループを作る ---- 18
2.3.4 カメラのグループ分け ---- 19
2.4　映像 ---- 20
2.4.1 映像表示 ---- 20
2.4.2 映像のコントロール ---- 20
2.4.2.1 パン / チルト ---- 20
2.4.2.2 プリセットポジションの設定と呼び出し ---- 21
2.4.2.3 巡回設定 ---- 22
2.5　オプション設定 ---- 24
2.5.1 オプション設定画面を開く ---- 24
2.5.2 映像逆転 ---- 24
2.5.3 WiFi 設定 ---- 25
2.5.4 アラーム設定 ---- 26
2.5.4.1 アラームスケジュール詳細設定 ---- 26
2.5.4.2 録画設定 ---- 29
2.5.4.3 カメラパラメータの設定 ---- 30
2.6　ステータスバー ---- 32
2.7　カメラのエクスポートとインポート ---- 33
2.8　システムオプション ---- 34
2.9　録画再生 ---- 36
2.9.1 ローカル録画データ再生 ---- 36
2.9.2 SD カード録画データ再生 ---- 37
2.10　アラームデータ確認 ---- 39
2.11　セットアップ ---- 41

第３章：IP カメラファインダーを使う ---- 42

3.1　IP カメラファインダーをコピーする ---- 42
3.2　IP カメラファインダーの起動 ---- 42

第４章：WEB 設定画面を使う ---- 45

4.1　WEB ブラウザからの映像の表示 ---- 45
4.2　映像の設定とコントロール ---- 46
4.3　WEB 設定 ---- 50
4.3.1 ネットワーク設定 ---- 51
4.3.2 アラーム設定 ---- 54
4.3.3 ビデオ記録 ---- 59
4.3.4 システム設定 ---- 61

第５章：Android スマートフォンからの視聴 ---- 67

5.1　視聴用アプリケーションのダウンロードと起動 ---- 67
5.2　カメラの登録と視聴 ---- 67
5.3　映像のコントロール ---- 69
5.4　設定 ---- 71
5.5　スナップショット / 録画データの確認 ---- 73
5.6　SD カード動画データの確認 ---- 74
5.7　アラームログ ---- 74
5.8　４画面表示 ---- 75
5.9　ソフトウェア情報 ---- 75

第６章：iPhone/iPad からの視聴 ---- 76

6.1　視聴用アプリケーションのダウンロードと起動 ---- 76
6.2　カメラの登録と視聴 ---- 76
6.3　映像のコントロール ---- 78
6.4　カメラ設定 ---- 80
6.5　スナップショットの確認 ---- 82
6.6　録画データの確認 ---- 82
6.7　SD カード動画データの確認 ---- 83
6.8　４画面表示 ---- 84
6.9　ソフトウェア情報 ---- 84

製品仕様 ---- 85･86
保証規定 ---- 88
製品保証書 ---- 裏面

このたびはネットワークカメラRCC-9801をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に説明書をよくお読みになり、カメラのライブ映像をお楽しみください。

第１章：本製品について

１.１　付属品

本製品をご使用になる前に、付属品がすべて揃っているか確認してください。万が一、不足の場合はお早めに販売店、または弊社までご連絡ください。

付属品リスト

同梱物	数量
①RCC-9801(本体)	1
②アンテナ	1
③ACアダプタ	1
④LANケーブル	1
⑤インストールCD	1
⑥ID/パスワードカード	1
⑦取付けプレート	1
⑧取付けネジ	1
⑨取扱説明書（兼保証書）	1

１.２　RCC-9801のご紹介

【基本機能】

●本製品はIPネットワークを通じて撮った映像を直接伝送します。

●MJPEG圧縮形式を採用することにより、LAN/WANの環境で、30キャプチャー/秒のリアルタイム映像を伝送することが可能です。

●ネットワークカメラはWEBサーバーを内蔵し、TCP/IPを設定した上でWEBブラウザから閲覧することが可能です。また、インターネットを通じてカメラの設定・起動等の操作も出来、設備の管理、及びメンテナンスの面で非常に便利です。

●いつでもどこでも簡単にインターネットを利用して映像の監視、コントロールが出来ます。

【付加機能】

●WEBブラウザから、同時に最大４人が視聴できます。

●音声双方向機能付きで、会話が可能です。（※パソコン側にはスピーカーとマイクが必要です）

●広範囲が撮影できるパン/チルト機能・スケジュール設定機能・映像の変化を検知すると、アラーム通知や画像をEメール送信する設定が出来る動体検知機能（検知レベル調整可能）などの多くの機能を搭載しています。

●16個のプリセットポジションを設定可能です。アラーム通知の際、プリセット位置を呼び出す事も可能です。

●無線IEEE802.11b/g/nに対応。

MEMO

RCC-9801　視聴までの流れ

<パソコンで見る>

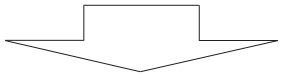
1. カメラとルーターを付属の LAN ケーブルで接続します。
2. カメラに電源コードを接続し、コンセントに接続します。
3. パソコンの電源を入れます。



4. 付属の視聴用ソフトをパソコンにインストールします。
5. 視聴用ソフトを起動します。
6. 本体裏面のユーザー ID と付属カードのパスワードを入力します。
7. 無線で使用する場合は、無線の設定をします。



8. カメラの取付位置と方向を決め、付属の台座で固定します。
   平置きの場合は、そのまま置くこともできます。



9. 映像表示ボタンをクリックします。



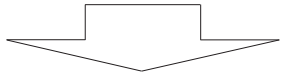
視聴開始です



10. 必要な機能の設定をします。

<スマートフォンで見る>

1. カメラとルーターを付属の LAN ケーブルで接続します。
2. カメラに電源コードを接続し、コンセントに接続します。



3. 視聴用アプリケーションをダウンロードします。
   ※Android は「Play ストア」から、iPhone は「App store」からダウンロードします。
4. アプリケーションを開きます。
5. 本体裏面のユーザー ID と付属カードのパスワードを入力します。
6. 無線で使用する場合は、無線の設定をします。
   ※パソコンで設定している場合は必要ありません。



7. カメラの取付位置と方向を決め、付属の台座で固定します。
   平置きの場合は、そのまま置くこともできます。



8. カメラ名をクリックします。



視聴開始です



9. 必要な機能の設定をします。

1.3　＜RCC-9801＞　各部名称とはたらき

【正面】



レンズ

ピントリング
（ピントを調節します）

LEDライト

【背面】



アンテナ取り付け部

LANポート
（ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。）

デジタルI/O

ステータス表示LED
オレンジ：インターネットの状態
緑：電源の状態

電源コネクタ
（ACアダプタを取り付けます）

リセットボタン
（電源が入った状態で、ペンの先などで、30秒以上押すとカメラを工場出荷時の初期値に戻します。）

マイクコネクタ

オーディオコネクタ

microSDカードスロット
（録画データを記録するmicroSD/SDHCメモリカードを挿入します）

【底面】



カメラ情報
（カメラのユーザーID/シリアルNO）

QRコード
（スマートフォンの視聴アプリにカメラを登録する際に使用します。）

第2章：PnPスーパークライアント（視聴ソフト）を使う

2.1　PnPスーパークライアントのインストール

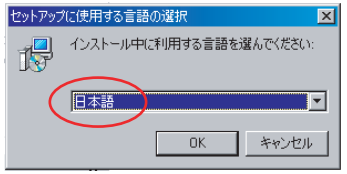
PnPスーパークライアントは、複数台のカメラの一括管理や、動体検知・アラームの設定など、さまざまな機能を使用することができます。
以下の手順に従って、本ソフトウェアをインストールしてください。

※パソコンにソフトウェアをインストールする前に、パソコンで起動しているアプリケーションを全て終了してください。他のアプリケーションが実行中の場合、プログラムが正しくインストールできない場合があります。

1）CD/DVD-ROMドライブに付属のインストールCDを挿入し、「PnPスーパークライアント」(視聴ソフト)をインストールします。

2）以下の手順に従ってインストールしてください。

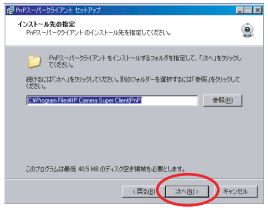
①言語を選択し、OKをクリック。



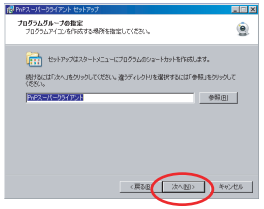
②次へをクリック



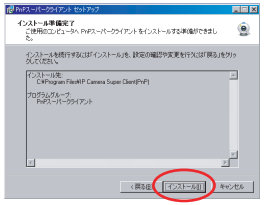
③次へをクリック



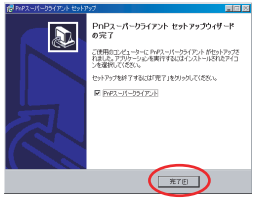
④次へをクリック



⑤インストールをクリック



⑥完了をクリック



⑦デスクトップに次のアイコンが表示され、インストール終了です。

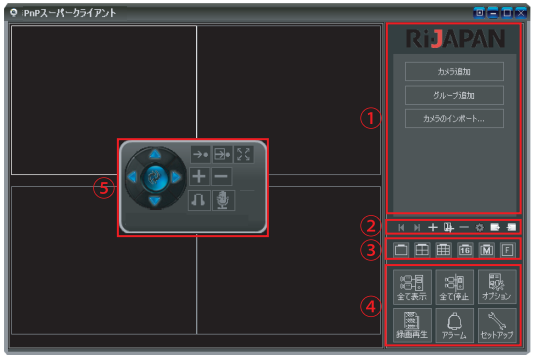


2.2 PnPスーパークライアントを使う

1）デスクトップ上にある  のアイコンをクリックし、ソフトを起動します。

2）以下の視聴用メインインターフェースが表れます。

2.2.1　各部の名称と機能



各部の説明は以下をご参照ください。

①カメラリスト	登録したカメラが一覧表示されます。初めて使用する際のみ、「カメラ追加」「グループ追加」「カメラのインポート」の項目が表示されます。(※カメラ登録後は表示されません)
②カメラ登録用 各種機能ボタン	次のカメラ、もしくは表示画面へ移動をおこないます。 分割画面の場合は分割画面ごとに移動をおこないます。
	前のカメラ、もしくは表示画面へ移動をおこないます。 分割場面の場合は分割画面ごとに移動をおこないます。
	カメラの登録を行います。クリックするとカメラの登録画面が表示されます。
	グループの追加を行います。クリックするとグループ名の入力画面が表れます。
	カメラの削除を行います。
	カメラリストで選択したカメラのオプション設定が行えます。 クリックするとオプション設定画面が表示されます。
	カメラのエクスポートを行います。
	カメラのインポートを行います。 （※カメラのエクスポート・インポートの詳細は、33ページ2.7をご参照ください。）

③分割画面設定	分割画面の切り替えができます。最大で81画面の表示が可能です。 1台のみ表示　16台表示 4台表示　6通りの分割表示を選べます。 9台表示　フルスクリーンモード
④各種機能	全て表示　カメラリストの中のカメラ全てに接続し映像表示します。
	全て停止　カメラリストの中のカメラ全ての接続を切断します。
	オプション　カメラのシステム設定をおこなえます。
	録画再生　ローカルに保存された録画データを見ることができます。 (※詳細は36ページ2.9.1をご参照ください。)
	アラーム　アラームによる録画データとスナップショットを見ることができます。(※詳細は39ページ2.10をご参照ください。)
	セットアップ　ソフトウェアに関する情報が確認できます (詳細は41ページ2.11をご参照ください。)
⑤操作パネル ※画面上で左クリックすると表示されます。	カメラのパン/チルトのコントロールをおこないます。 上下左右の4方向へ移動コントロール可能です。
	カメラの標準の巡回をスタートさせます。 停止する場合は上下左右の操作ボタンを押してください。
	予め設定した1～16のプリセットポジションに移動します。
	1～16のプリセットポジションを設定できます。 (設定方法については21ページ2.4.2.2をご参照ください。)
	オリジナルの巡回の開始/停止/設定がおこなえます。 (設定方法については22ページ2.4.2.3をご参照ください。)
	表示画面のズームをおこないます。
	表示画面のズームアウトをおこないます。
	オーディオ機能のON/OFFをおこないます。 赤く点灯時がONの状態です。
	マイク機能のON/OFFをおこないます。 赤く点灯時がONの状態です。

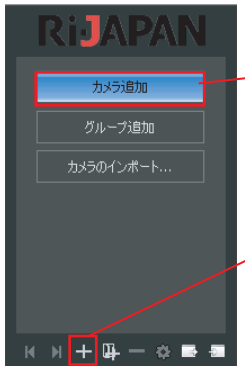
2.3　カメラの登録

2.3.1　カメラリストへカメラを登録する

設置したカメラをカメラリストへ登録します。

注意)カメラをグループ分けする場合は、グループから先に作成をしてください。
　　グループ作成方法は、17ページ「2.3.2 グループの作成」をご参照ください。

1）カメラリストから、カメラの追加をクリックします。最初の1台目はここから登録ができますが、2台目以降はカメラ登録ボタンから登録を行ってください。
（ 1台目でも追加ボタンから登録することは可能です。）



最初の1台目はここから登録ができます。

２台目以降はこちらから登録してください。
（ ※1台目をここから登録することも可能です。）

2）カメラの登録画面が表示されます。以下の手順にてカメラを登録してください。

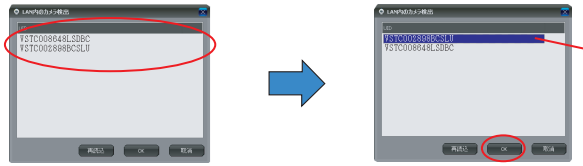


①カメラの名前を入力します。デフォルトの名前は「IPカメラ」です。

②カメラのユーザーIDを入力します。

【ローカルエリア内のカメラの場合】

検索をクリックすると、ローカルエリア内に設置されているカメラのユーザーＩＤを自動的に検索し、一覧が表示されます。登録したいカメラのID番号を選択し「OK」をクリックします。



登録するカメラのIDを選択し「OK」をクリックします。

※カメラのユーザーIDが表示されない場合
- ●「再読込み」をクリックして暫く待ってください。(表示されるまでに30秒から1分程度時間がかかる場合があります。)
- ●カメラがパソコンと同じローカルエリアネットワーク内に設置されているかどうか、再度確認してください。

【ローカルエリア外のカメラの場合】

カメラのユーザーIDを直接手入力してください。
(※IDはカメラ底面、もしくは本製品付属のID/パスワードカードをご確認ください。)

③カメラのパスワードを入力します。

【ローカルエリア内のカメラの場合】
上記②の手順でIDを検索すると、自動的にパスワードも入力されます。

【ローカルエリア外のカメラの場合】
カメラのパスワードを直接手入力してください。
(※パスワードは本製品付属のID/パスワードカードをご確認ください。)

※カメラのデフォルトのパスワードは全てのカメラが「888888」ですので、ご購入後に変更する事をおすすめします。パスワード変更は、「パスワードの変更」をクリックして変更してください。変更後、パスワードを忘れないようにしてください。また、変更後カメラをカメラリストから一旦削除しても、カメラ本体のリセットボタンを押さないがぎり、再登録した場合は変更後のパスワードが設定されたままとなりますのでご注意ください。

④カメラを天井などに上下逆さまに設置した場合、チェックを入れてください。映像を上下逆転させて表示します。

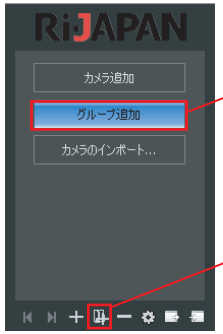
3）「OK」をクリックしてカメラを登録します。カメラリストにカメラの名前が表示され、登録完了です。



2.3.2　グループの作成

複数のカメラをグループごとに分けることができます。

1）カメラリストから、グループの追加をクリックします。視聴ソフトのインストール後すぐにグループを作成する場合はここから作成ができますが、２つ目以降のグループはグループ追加の機能ボタンから作成を行ってください。
（視聴ソフトインストール後すぐの作成時でも、グループ追加の機能ボタンから作成することも可能です。）



視聴ソフトインストール後すぐにグループを作成する場合はここからおこなってください。

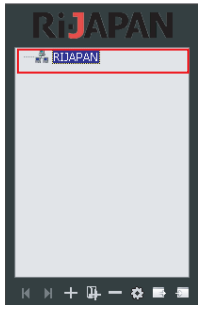
2つ目以降の作成はこちらからおこなってください。
(※一つ目をここから作成することも可能です。)

2）グループ名の登録画面が表示されます。登録したいグループ名を入力して「ＯＫ」をクリックしてください。

作成するグループ名を入力し、「ＯＫ」をクリックします。



3）カメラリストにグループ名が表示されたら、グループの作成完了です。次のグループを作成する場合は次ページ「2.3.3 複数のグループやサブグループをつくる」をご参照ください。



2.3.3　複数のグループやサブグループを作る

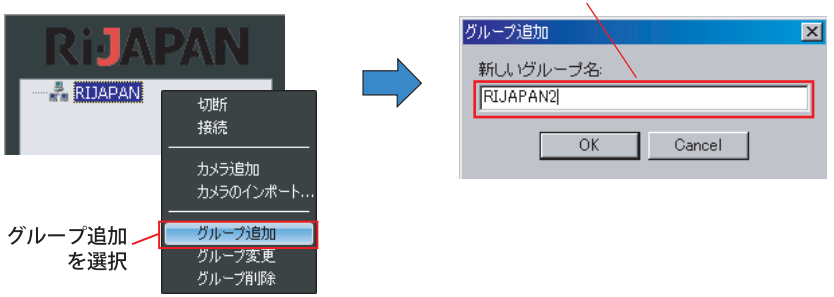
1）１つ目のグループを作った後、下記Ａ・Ｂどちらかの方法でグループ名入力の画面を呼び出し、グループ名を入力します。

Ａ：グループの追加を左クリック



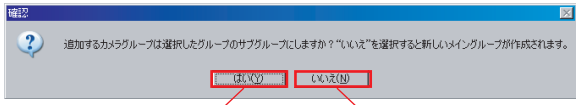
Ｂ：作成したグループの名前を右クリック

作成するグループ名を入力します。



グループ追加を選択

2）カメラ名を入力後「OK」をクリックすると、以下の確認画面が表示されます。選択したカメラグループの中にサブグループを作る場合は「はい」を、新しい別のグループを作る場合は「いいえ」をクリックします。



【グループの中にサブグループを作る場合】

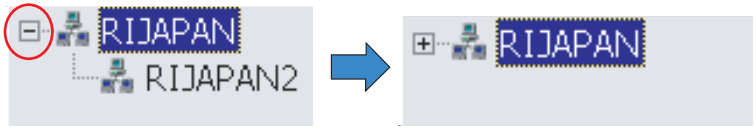


【新しい別のグループを作る場合】



上記手順を繰り返し、複数のグループやサブグループを作成してください。

※「−」をクリックすると、グループ内のサブグループやカメラ名が隠れます。
元に戻す場合は「+」をクリックしてください。



2.3.4　カメラのグループ分け

カメラを好きなグループごとに分類することができます。

注意）カメラをグループ分けする場合は、必ず先にグループを作成しておいてください。カメラ登録後にグループ分けをおこなうと、アラーム設定時のグループ指定が正しくおこなわれません。

1）カメラを登録したいグループをカメラリストの中から選択し、下記A・Bどちらかの 方法でカメラ登録画面を呼び出します。

カメラを登録したいグループを選択します。



A：カメラの追加を左クリック



B：作成したグループの名前を右クリック



カメラ追加を選択

カメラの登録画面



2）カメラを登録すると、選択したグループの中にカメラ名が表示されます。

(※カメラの登録方法は、15 ページ 2.3 をご参照ください。)



2.4 映像

2.4.1　映像表示

登録したカメラの映像を表示します。

●1台ずつ表示させる場合・・・登録したカメラの名前をダブルクリックしてください。
●登録した全てのカメラ映像を表示させる場合・・・機能ボタンの 全て表示 をクリックしてください。

カメラの映像が表示されます。



2.4.2　映像のコントロール

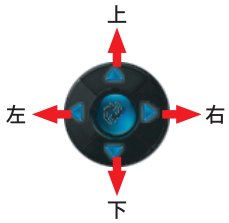
2.4.2.1　パン/チルト

映像を表示中のカメラを選択し、操作パネルでカメラの撮影方向を左右・上下に動かすことができます。

操作するカメラ映像をクリックで選択し、画面上で左クリックすると、以下の操作パネルが現れます。パンチルト操作ボタンで左右(±175°)上下(+90°/-30°)に動かします。



パン/チルト操作ボタン



●操作パネルを消す場合・・・操作パネルを右クリック
●操作パネルを移動させる場合・・・パネルをクリックしたまま動かしたい方向へ移動

2.4.2.2　プリセットポジションの設定と呼び出し

カメラが撮影をおこなうポイントを、あらかじめ設定したり呼び出したりすることができます。本製品では16通りのポイントを設定できます。

以下の手順に従って設定してください。

【ポジションの設定】

1）パン/チルト操作ボタンを使い、設定したい位置にカメラの向きを合わせます。

2）操作パネルを呼び出し、「プリセットポジション設定ボタン」をクリックすると、1～16までのプリセットポジションが表示されます。

3）現在カメラが向いている位置を設定したいポジション（数字）をクリックすると、設定完了です。

4）上記１～３の手順を繰り返して、１～16までの位置を設定してください。



【ポジションの呼び出し】

1）操作パネルの「プリセットポジション呼び出しボタン」をクリックします。

2）1～16のポジションが表示されます。

3）呼び出したい位置の数字をクリックすると、カメラがその位置まで移動します。

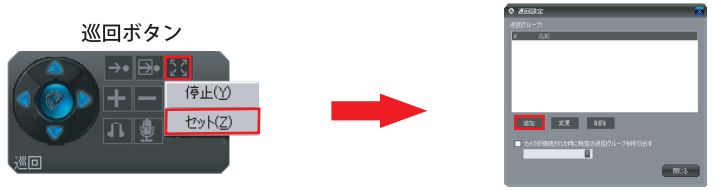


2.4.2.3　巡回設定

プリセットポジションを組み合わせて、カメラの巡回路を設定することができます。

1）操作パネルの「巡回」ボタンをクリックし、「セット」を選択すると、巡回設定画面が表示されます。

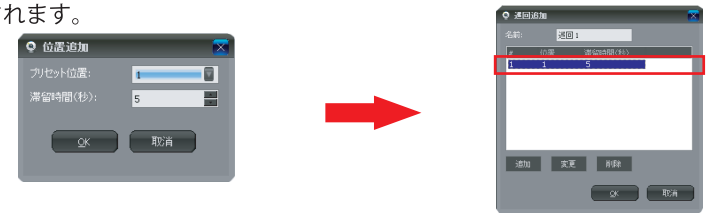
2）巡回設定画面の「追加」をクリックします。



3）巡回追加の画面が表示されます。巡回路に名前をつける場合は、名前を変更し、「追加」をクリックします。



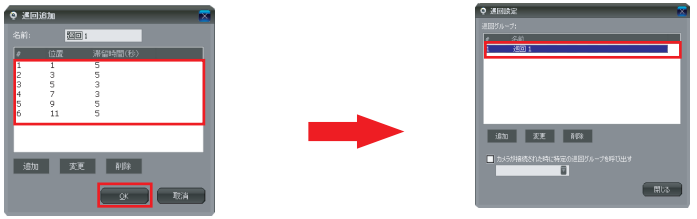
4）位置追加の画面が表示されますので、プリセット位置とそのポイントでの滞留時間を設定し、ＯＫをクリックすると、一つ目の巡回ポイントとその滞留時間が登録されます。



5）1～4までの手順を繰り返し、好きなポジションを組み合わせて一つの巡回グループを作成 します。ＯＫをクリックすると巡回グループが登録されます。

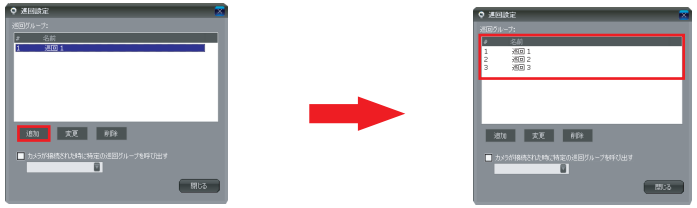
例）プリセットポジション1.3.5.7.9.11を
巡回1に設定した場合。

巡回1として登録されます。

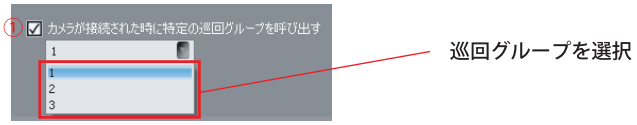


6）巡回グループを複数登録する場合は、以下の画面で「追加」をクリックし、新たに登録をしてください。

複数の巡回路が作成できます。



カメラ接続時に、特定の巡回グループを呼び出すことも可能です。
その場合、①にチェックを入れ、呼び出したい巡回グループを選択してください。



7）登録された巡回グループは、操作パネルの巡回ボタンを押すと表示されます。
巡回させたいグループをクリックすると、巡回がスタートします。

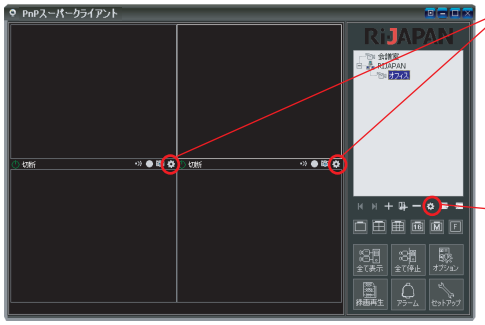


2.5　オプション設定

ここでは、登録したカメラの様々な機能の設定がおこなえます。

2.5.1　オプション設定画面を開く

1）オプション設定画面を、以下のA･Bどちらかの方法で表示します。

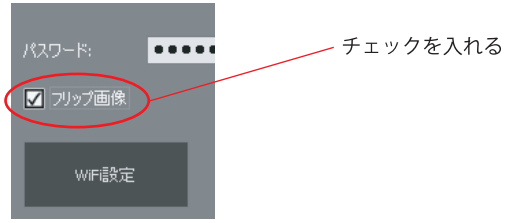


2）オプション設定画面が開きます。ここから、各種設定が行えます。



2.5.2　映像逆転

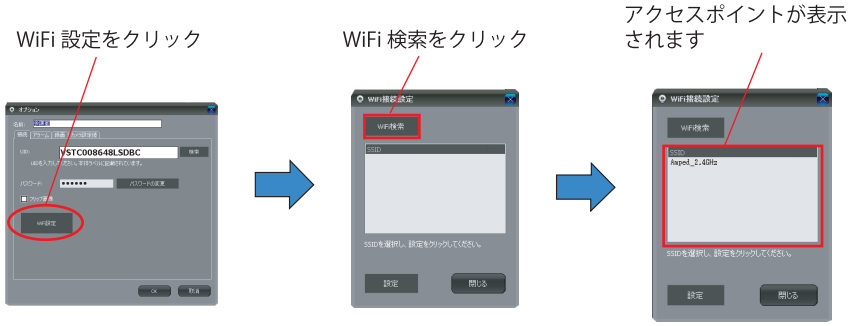
カメラを天井などに上下逆さまに設置した場合などに、映像を逆転させます。
「フリップ画像」にチェックを入れると、映像を逆転させることができます。



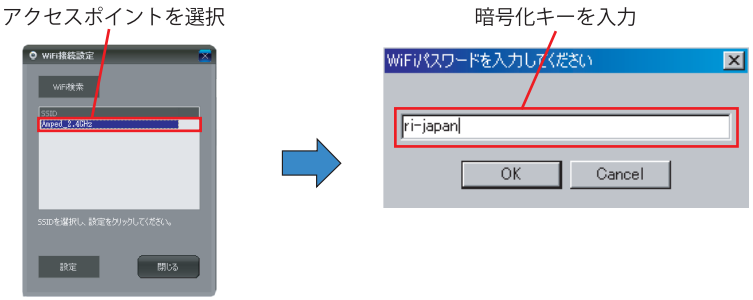
2.5.3　WiFi設定

カメラのWiFi接続設定をおこなえます。

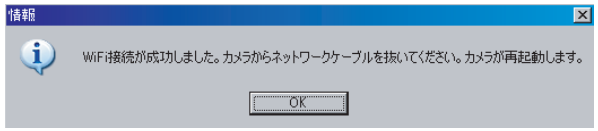
1）WiFi設定をクリックすると、設定画面が表示されます。
設定画面の「WiFi検索」をクリックすると、稼働中の接続可能なアクセスポイントが一覧に表示されます。



3）接続するアクセスポイントを選択し、「設定」をクリックすると、暗号化キーの入力画面が表示されます。暗号化されている場合は、暗号化キーを入力し「OK」をクリックしてください。必要ない場合は空欄のまま「OK」をクリックしてください。



4）WiFi接続が成功すると、以下の画面が表示されます。**カメラからLANケーブルを抜いた後、「OK」をクリックしてください。**

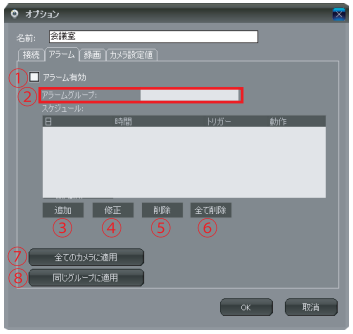


5）LANケーブルを抜きしばらくするとカメラが再起動します。 カメラの映像が表示されれば正しく無線接続ができています。

※映像が正しく表示されない場合、WiFi 設定の詳細を再度よくご確認ください。

2.5.4　アラーム設定

アラームのスケジュールや、アラーム入力による動作の詳細設定がおこなえます。



①アラーム機能を有効にする場合、チェックをいれます。

②アラームスケジュールをグループごとに設定する場合は、グループ名を入力します。

③アラームスケジュールを追加します。クリックすると詳細設定画面が表示されます。
設定詳細については26～-28ページ2.5.4.1をご参照ください。

④選択したスケジュールの修正をおこないます。

⑤選択したスケジュールの削除をおこないます。

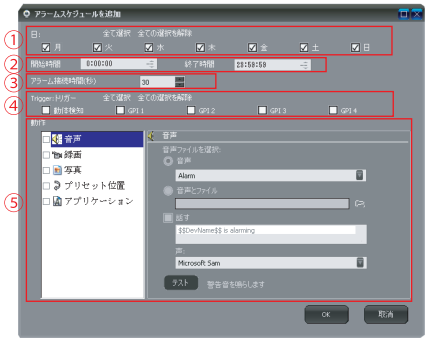
⑥設定されている全てのスケジュールを削除します。

⑦設定したスケジュールを全てのカメラに適用させます。

⑧設定したスケジュールを同じグループ内のカメラに適用させます。

2.5.4.1　アラームスケジュール詳細設定

ここでアラームスケジュールの詳細設定をおこないます。次の説明をご参照ください。



①アラーム通知をおこなう曜日を選択します。

②アラーム通知をおこなう時間を設定します。

③アラーム通知をおこなう時間を秒単位で設定します。

④アラーム通知をおこなう条件を設定します。
動体検知：カメラの捉えている範囲内で人や物が動いた場合、映像の変化を検知してアラームを通知します。
GPI 1～3：外部入力機器を接続したGPI 1～3のどれかによりアラームを通知します。

⑤アラームにより、どのような動作をおこなうかを設定できます。
詳細は以下をご参照ください。

●音声・・・アラーム入力により、警告音を鳴らします。



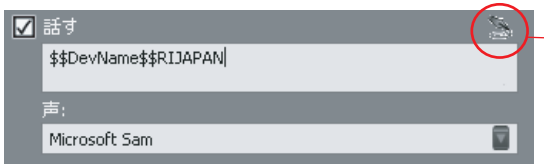
A：アラーム音声の種類を選択できます。

B：アラーム音声としてパソコンにある音声ファイルを使用することができます。

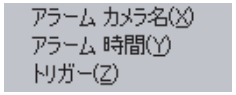


クリックしてパソコンから音声ファイルを選んでください。

C：入力した内容を、声の「Sam」が読みます。（※但し、英語のみです。）



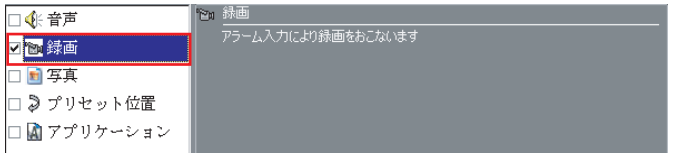
以下の中より音声にさせたい内容を選択し、その後ろに内容を入力してください。



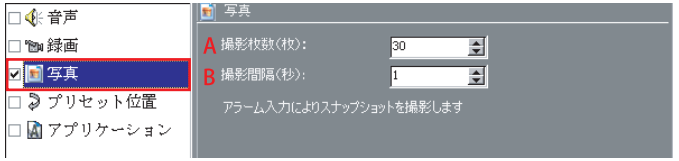
D：入力した内容のアラームが鳴ります。



●録画・・・アラーム入力があると、録画を開始します。



●写真・・・アラーム入力により、スナップショットを撮影します。

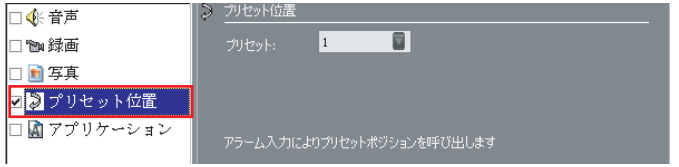


A：撮影する写真の枚数を指定できます。

B：写真を撮影する間隔を、秒単位で設定できます。

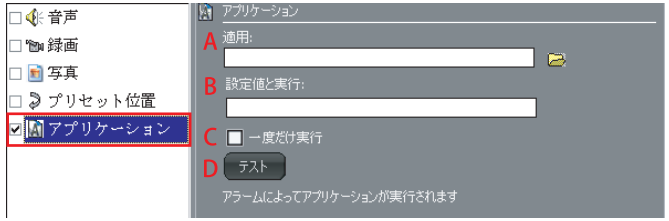
注意）アラーム接続時間と撮影間隔の設定によっては、指定した枚数撮影できない場合がありますので、アラーム接続時間は多めに設定してください。

●プリセットポジション‥‥アラーム入力により、プリセットポジションへ移動します。



予め設定したプリセットポジションを選択できます。
（ プリセットポジションの設定方法は２１ページ2.4.2.2.をご参照ください。）

●アプリケーション‥‥アラーム入力により、別のアプリケーションを動作させます。



A：動作させるアプリケーションを選択します。

B：メモ帳などのアプリケーションを立ち上げる場合にのみ使用します。ここに記入された文字の題名で起動します。

C：一度のみ実行する場合、チェックをいれてください。

D：アプリケーションの動作のテストをおこないます。

全ての設定が終わったら、OKをクリックして必ず内容を保存してください。設定をやり直す場合は、取り消しをクリックします。

2.5.4.2　録画設定

カメラの録画についての詳細設定をおこなえます。



①録画機能を有効にする場合、チェックを入れます。

●連続録画・・・連続でカメラ映像を録画します。

●スケジュール録画・・・設定したスケジュール通りに録画を行います。

②録画スケジュールを追加します。クリックすると詳細設定画面が表示されます。
設定詳細は以下をご確認ください。

【録画スケジュール設定】



A：録画を実行する曜日を選択します。

B：録画を実行する時間を指定します。

全ての設定が終わったら、OKをクリックして必ず内容を保存してください。設定をやり直す場合は、取り消しをクリックします。

③選択したスケジュールの修正をおこないます。

④選択したスケジュールの削除をおこないます。

⑤設定されている全てのスケジュールを削除します。

⑥設定したスケジュールを全てのカメラに適用させます。

⑦設定したスケジュールを同じグループ内のカメラに適用させます。

2.5.4.3　カメラパラメータの設定

カメラの録画についての詳細設定をおこなえます。



①詳細設定を行う前に、クリックしてください。設定値を取得します。
②各種カメラパラメーターの設定がおこなえます。詳細は下記をご参照ください。
③設定内容の保存をおこなえます。

【アラーム】



A：アラームトリガー

①動体検知有効
動体検知をする場合チェックを入れます。1～10までの検知感度を選択できます。１が最高感度、10が最低感度です。設置環境や状況に合わせて調節してください。

②DI有効
緊急通報システムなど、外部入力に連動させる場合チェックを入れます。
高/低の感度が選択できます。

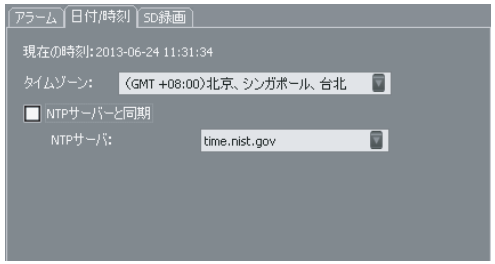
B：アラームアクション

③プリセットポジションの呼び出し
アラーム入力により、カメラの向きをあらかじめ設定したプリセットポジションへ移動させます。（プリセットポジションの設定方法は20ページ2.4.2.2.をご確認ください。）

④DO連動
外部出力システムに連動させる場合チェックを入れます。高/低の出力レベルが選択できます。

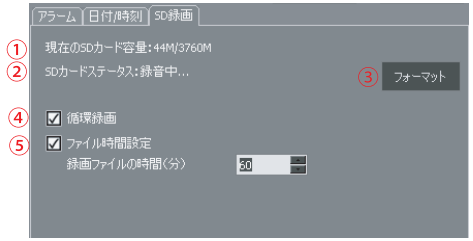
全ての設定が終わったら「適用」をクリックし、内容を保存してください。カメラパラメーターの設定の場合は「OK」をクリックしても内容は保存されませんのでご注意ください。

【日付/時刻】



カメラはインターネットから自動的に時刻を取得しますので、基本的に、タイムゾーンなど、このページの設定を変更する必要はありません。

【SD録画】

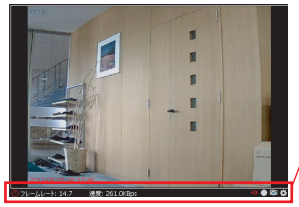


①カメラに挿入されているマイクロSDカードの使用容量を表示します。
②カメラに挿入されているマイクロSDカードの状態を表示します。
③カメラに挿入されているマイクロSDカードのフォーマットをおこないます。
④空き容量がなくなった場合に、古いデータから上書きして録画します。
⑤録画されるファイルの時間を設定します。

全ての設定が終わったら「適用」をクリックし、内容を保存してください。
カメラパラメーターの設定の場合は「OK」をクリックしても内容は保存されませんのでご注意ください。

2.6　ステータスバー

表示中の映像の状態や、設定変更・確認ができます。





●フレームレート
１秒間に画面を書き換えることができる回数を表します。この数値が高いほど、画面表示は滑らかになります。

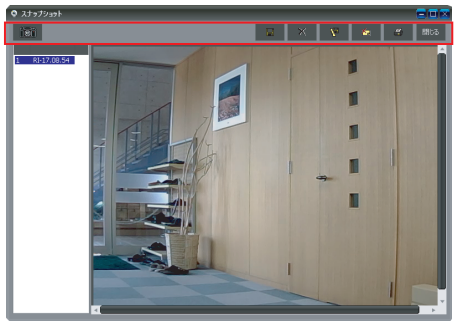
●速度
映像データの転送速度を表します。速度が速いほど映像の動きがなめらかになります。

●アラーム通知
アラームの設定状況を表します。クリックすると、有効/無効の切り換えやオプション設定がおこなえます。

●録画のスタート/停止
録画の設定状況を表します。クリックすると、録画スケジュールやオプション設定がおこなえます。

●スナップショット
表示中の映像のスナップショットを撮影･保存することができます。クリックすると撮影したスナップショットが別画面で表示されます。

（表示された別画面）




スナップショットボタン。
クリックすると写真が撮影できます。


選択した写真を保存します。


選択した写真を削除します。


撮影した写真全てを保存します。


撮影した写真全てを削除します。


選択した写真を印刷します。

●オプション
カメラの様々な詳細設定ページを表示します。

2.7　カメラのエクスポートとインポート

登録したカメラリストの取り込み・取り出しができます。



カメラのエクスポートを
おこないます。

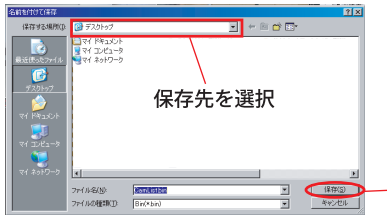
カメラのインポートを
おこないます。



初期画面からもカメラ
のインポートは可能で
す。

●カメラのエクスポート

登録したカメラリストを取り出します。
カメラのエクスポートボタンをクリックすると、以下の保存画面が表示されます。
保存先を選択して、保存してください。
保存されたカメラリストは、binファイルで保存されます。



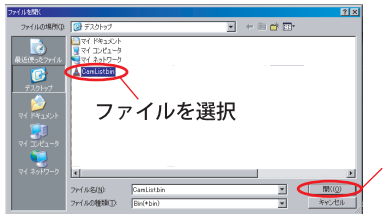
保存を
クリック



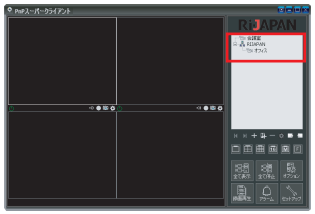
binファイルで保存されます

●カメラのインポート

取り出したカメラリストを、視聴ソフトへ取り込みます。
カメラのインポートボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。ファイルを選択して、開くをクリックします。



開くを
クリック



カメラリストに、取り込んだカメラが
そのまま登録されます。

2.8　システムオプション

ここでは、システムの詳細設定がおこなえます。

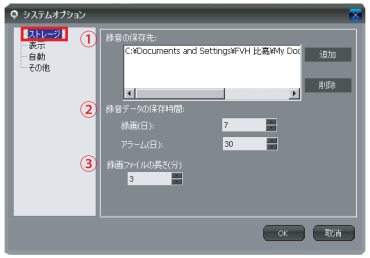




システムオプション

詳細は以下をご確認ください。

●ストレージ



①録画データの保存先を設定します。
追加をクリックし、保存先を選択してくださ
い。

②アラームデータ、録画データを保存する日数
を設定します。

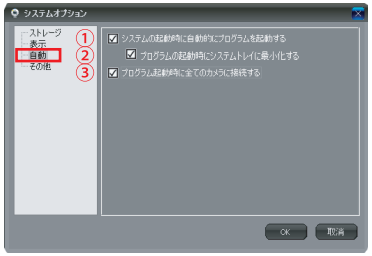
③1ファイルの録画時間を設定します。

●表示



①画面上にカメラ名を表示します。
②画面上に現在時刻を表示します。
③表示する文字のフォントを選択します。
④タイトルバーを表示させます。
⑤ステータスバーを表示させます。
⑥画面の縦横比を維持します。

●自動

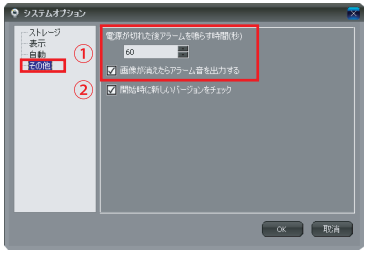


①使用端末起動時に、自動的にプログラムを起
動させます。

②プログラムの起動時にシステムトレイにソフ
トを最小化させます。

③プログラムの起動時に、登録済みの全てのカ
メラ(オンラインのもの)に接続します。

●その他



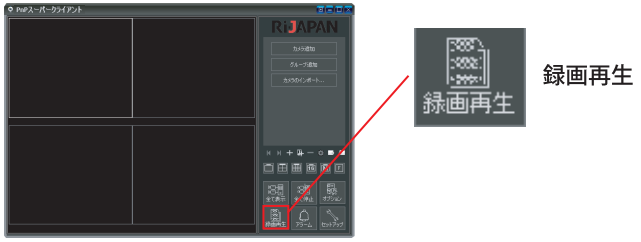
①映像表示中にカメラの電源をコンセントから抜かれた場合、設定した秒数後警告音を鳴らします。(※パソコン起動時のみ)
設定する場合は「画像が消えたらアラーム音を出力する」に必ずチェックを入れて下さい。

②プログラム開始時に毎回、プログラムの新しいバージョンがあるかどうかチェックします。

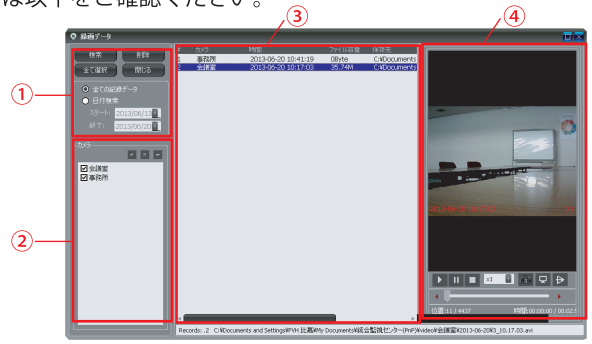
2.9　録画再生

2.9.1　ローカル録画データ再生

パソコンのハードディスクなどへのローカル録画データを再生します。



詳細は以下をご確認ください。



①●検索・・・録画データの検索をおこないます。

●削除・・・録画データの削除をおこないます。

●全て選択・・・録画済みデータを全て選択します。

●閉じる・・・録画再生画面を閉じます。

●全ての記録データ・・・ここにチェックを入れて検索すると、現在までの録画済みデータが全て検索されます。

●日付検索・・・検索したい期間のデータだけ指定して検索ができます。

②録画データのあるカメラ名が検索後表示されます。
カメラ名左側のチェック欄で、録画データを検索したいカメラだけを指定することもできます。

全て選択・・・検索されたカメラ全てを選択します。

全ての選択を解除・・・検索されたカメラの全ての選択を解除します。

非選択・・・選択しているカメラの選択を解除して、選択されていないカメラを選択します。

③検索された録画データの詳細が一覧で表示されます。再生したいデータをクリックして選択してください。

④選択した録画データの再生画面です。



再生

一時停止

停止

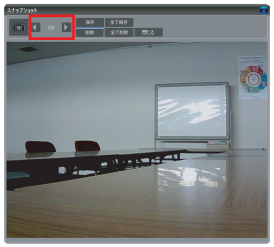
x1 再生スピード選択

フルスクリーン表示

フリップ画像（映像逆転）

静止画

※詳細は下記をご確認ください。



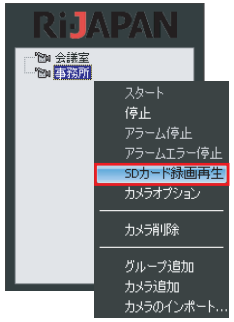
静止画ボタンをクリックすると、左の別画面が表示されます。再生中静止画を撮りたい箇所ごとで静止画ボタンを押し、気になるポイントを保存することができます。
左上赤枠内で、全ての写真をチェックすることができます。
各機能ボタンで、撮影した静止画の保存や削除もおこなえます。

2.9.2　SDカード録画データ再生

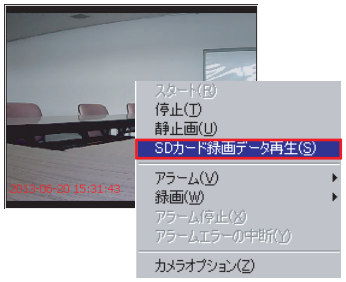
カメラに挿入されたマイクロSDカード内の録画データを再生します。
(※マイクロSDカードへの録画設定や録画データの削除は、WEBブラウザの設定ページからのみおこなえます。本ソフト上ではおこなえません。)

①以下のA・Bどちらかの方法で再生画面を開きます。

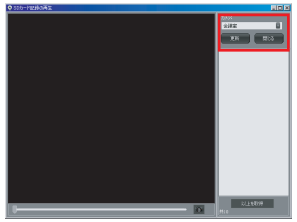
A：カメラ名を右クリック



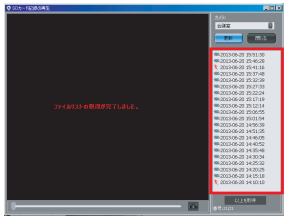
B：映像表示画面上で右クリック



②ＳＤカード記録の再生画面が表れます。再生したいカメラ名を選択し、更新をクリックすると、スケジュール録画やアラームによる録画のデータが一覧で表示されます。



カメラ名を選択して、更新をクリック

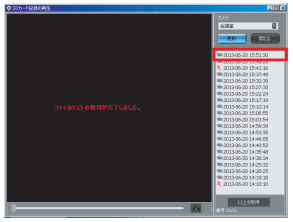


データー覧が表示されます

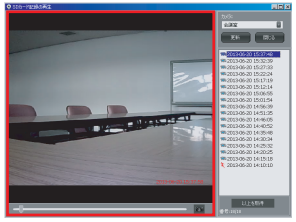
スケジュール録画、連続録画によるデータ

動体検知や外部入力などアラームによる録画

③再生したいデータをクリックして選択すると、再生を開始します。



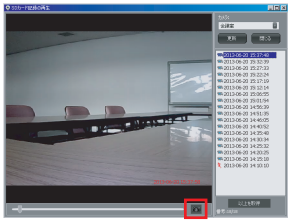
再生したいデータをクリック



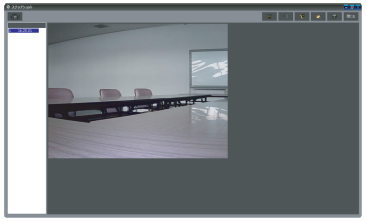
再生を開始します

【再生データのスナップショット】

①再生中にスナップショットボタンをクリックすると、静止画が別画面で表示されます。

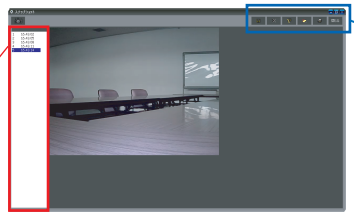


スナップショットボタンをクリック



別画面にて静止画が表示されます

②再生しながら各ポイントでスナップショットボタンを押すと、赤枠内に撮影した静止画の一覧が作成されていきます。撮影したデータは保存や印刷、削除も可能です。



撮影した静止画の一覧が作成されていきます。

ここから、保存・削除・印刷などがおこなえます。

2.10　アラームデータ確認

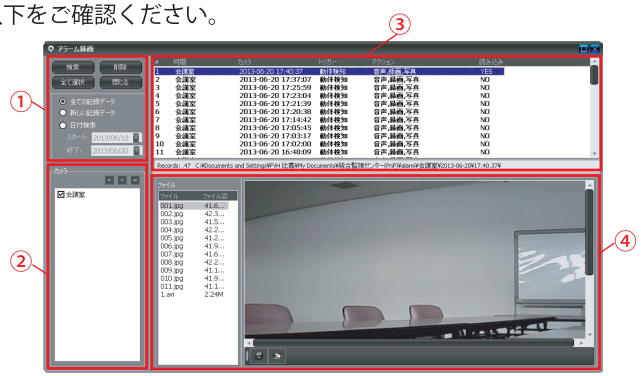
アラームによる録画や写真データを確認できます。





アラーム録画

詳細は以下をご確認ください。



①●検索・・・アラームデータの検索をおこないます。

●削除・・・アラームデータの削除をおこないます。

●全て選択・・・アラームデータを全て選択します。

●閉じる・・・アラームデータ再生画面を閉じます。

●全ての記録データ・・・ここにチェックを入れて検索すると、現在までのアラームデータが全て検索されます。

●新しい記録データ・・・未確認のデータが検索されます。

●日付検索・・・検索したい期間のデータだけ指定して検索ができます。

②アラームデータのあるカメラ名が検索後表示されます。
カメラ名左側のチェック欄で、アラームデータを検索したいカメラだけを指定することもできます。

全て選択・・・検索されたカメラ全てを選択します。

全ての選択を解除・・・検索されたカメラの全ての選択を解除します。

非選択・・・選択しているカメラの選択を解除して、選択されていないカメラを選択します。

③検索されたアラームデータの詳細が一覧で表示されます。確認したいデータをクリックして選択してください。

④選択したアラームデータの再生画面です。

例）アラームによる写真撮影と録画を設定した場合

【写真データ】



【録画データ】



再生

一時停止

停止

x1　再生スピード選択

フルスクリーン表示

フリップ画像（映像逆転）

静止画

※静止画機能は、36～7ページ2.9.1 ローカル録画データ再生ページと同じです。36～7ページをご参照ください。

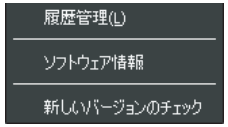
2.11　セットアップ

ソフトウェアに関する様々な情報が確認できます。





クリックすると下記メニューが表示されます。



●履歴管理・・・カメラ動作の履歴が確認できます。



①履歴を検索したい範囲を指定します。

②履歴を検索したいカメラ名を選択し、検索ボタンを押すと検索できます。

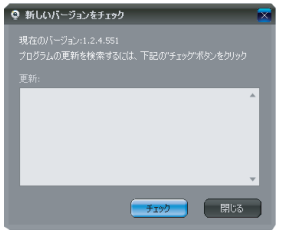
③日付範囲とカメラ名の条件に該当するカメラ名と日付が表示されます。

④③で選択したカメラの動作履歴が表示されます。

●ソフトウェア情報・・・使用しているソフトウェアのバージョンが確認できます。



●新しいバージョンのチェック・・・ソフトウェアの更新情報のチェックがおこなえます。



チェックをクリックすると、プログラムの更新を確認することができます。

第３章:IPカメラファインダーを使う

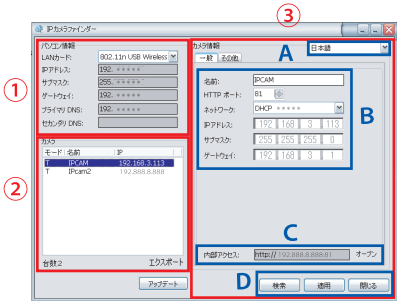
3.1　IPカメラファインダーをコピーする

IPカメラファインダーを使って、ローカルエリアネットワーク内に接続されている複数のカメラを検索することができます。

CD/DVD-ROMドライブに付属のインストールCDを挿入して、CD-ROMからデスクトップへソフトをドラッグし、コピーします。
コピーすると、デスクトップ上にIPカメラファインダーのアイコン  が表示されます。ダブルクリックし、ソフトを起動させてください。

3.2　IPカメラファインダーの起動

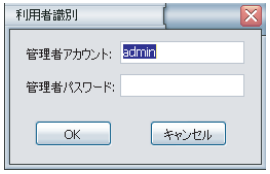
IPカメラファインダーを起動すると、以下の画面が表示されます。



①パソコンの詳細情報が表示されます。

②ご使用のローカルエリアに接続されている全てのカメラが表示されます。
エクスポートボタンで、カメラリストをエクスポートすることもできます。

③【一般ページ】
カメラに関する様々な情報がここで確認できます。②の一覧の中からカメラを選択すると、選択したカメラの情報が表示されます。
Ａ：表示する言語を選択します。
Ｂ：カメラのネットワークを設定できます。
カメラのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は「DHCP」のまま変更する必要はありません。固定IPアドレスをご使用の場合は「固定IPアドレス」を選択し、手動でIPアドレスを入力してDの「適用」で保存します。利用者識別の画面が表示されたら、カメラの管理者アカウントとパスワードを入力し「OK」をクリックしてください。



初期設定は　管理者アカウントは「admin」
管理者パスワードはID/パスワードカードに記載されたものと同じです。

C：カメラ映像をWEB経由で視聴する際に使用します。
アドレスを、WEBブラウザのアドレスバーに直接入力、もしくはオープンボタンをクリックします。
(※WEB 経由での視聴・設定は、カメラとパソコンが同じローカルエリアネットワーク内にある場合のみおこなえます。)

●アドレスバーに入力する場合

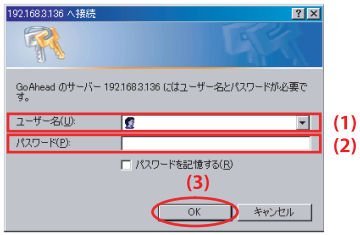


●オープンボタンを使う場合



入力すると、ログイン画面が表示されますので、下記内容を入力し、「OK」をクリックします。
（1）ユーザー名：「admin」
（2）パスワード：製品付属のID//パスワードカードに記載されています。
（3）OKをクリック

ログイン画面



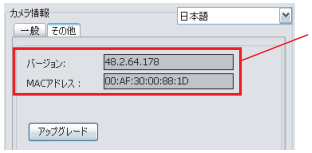
ログインすると、下記画面が表示されます。以下のページからWEBブラウザ経由でカメラの映像が視聴できます。



※WEBブラウザ経由の視聴方法は、
45ページ４.１をご参照ください。

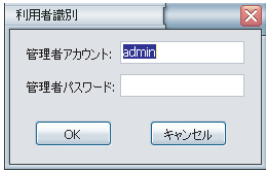
D：検索・・・ローカルエリアネットワーク内のカメラを検索します。
適用・・・IPアドレスやポートなどの設定を変更した場合、内容を保存します。
閉じる・・・IPカメラファインダーを閉じます。

【その他ページ】
カメラの「WebUIのファームウェア」と「システムファームウェア」のアップデートがおこなえます。
WebUIのファームウェアはWEB設定ページ、システムファームウェアはカメラ本体内部のシステムです。



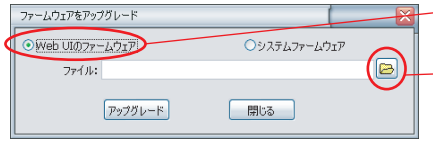
選択したカメラのバージョンと
MACアドレスが表示されます

1）アップグレードをクリックすると、利用者識別の画面が表示されます。
カメラ管理者アカウントとパスワードを入力し「OK」をクリックします。



初期設定は　管理者アカウントは「admin」
管理者パスワードはID//パスワードカードに記載されたものと同じです。

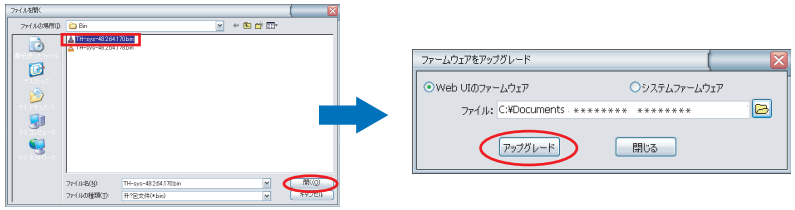
2）以下の画面が表示されたら、アップグレードさせるファームウェアにチェックをつけ、ファイルを選択します。



アップグレードさせる方を選択

ファイルを選択

3）ファイルを選択し「開く」をクリックしてアップグレードをおこないます。



4）アップグレードが成功したら、「OK」をクリックしてください。

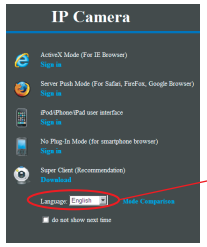


第４章:WEB設定画面を使う

４.１　WEBブラウザからの映像の表示

本製品は、InternetExproler .Firefox .Safari .Google等のウェブブラウザに対応しています。(※WEBブラウザからの視聴・設定は、カメラとパソコンが同じローカルエリアネットワーク内にある場合のみおこなえます。ローカルエリアネットワーク以外からの視聴・設定は視聴ソフトをご使用ください。視聴ソフトは、付属のCD-ROMもしくは弊社ホームページからダウンロードが可能です。弊社ホームページ：http://www.rijapan.co.jp)

WEBブラウザ画面にログインすると、以下の画面が表示されます。
（ ※WEBブラウザへのログイン方法はP.42～43をご参照ください。）



1）言語欄で「日本語」を選択します。





2）閲覧するブラウザまたはOSに合うモードを選択してください。
（※間違ったモードを選択すると、映像閲覧ができません。）

A：Internet Explorerから閲覧の場合

B：Safari/Firefox/Googleから閲覧の場合
（※safari/Firefox/Googleからログインする場合は、使用可能な機能が制限されますので、InternetExplorerのご使用をおすすめします。）

※C・Dは使用できません。

※ここにチェックをつけると、次回閲覧の際にはこの画面は表示されず、対応しているモードから、直接カメラ画像が表示されます。

3）閲覧画面が表示されます。



４.２　映像の設定とコントロール

WEBブラウザからカメラのリアルタイムの映像が閲覧でき、カメラの遠隔動作や映像設定などがおこなえます。
モニター画面がスクリーン左側に表れ、右側にあるパネルでカメラの基本操作がおこなえます。各設定項目内容は以下の通りです。



周波数	本製品設置場所の、蛍光灯周波数に合わせて選択します。 周波数が合っていないと、映像がちらついて見えることがあります。 通常東日本は50Hz、西日本は60Hzを設定します。
解像度	映像の解像度を設定します。この数値が大きいほど高解像度でなめらかな画質になります。
ビットレート	通信回線の1秒間のデータ量を表し、この値が大きいほど高画質になります。ただし、この値が大きいと、それだけファイルの大きさも大きくなります。
フレームレート	数値が大きいほど、映像の動きがスムーズになります。
プリセット	カメラの撮影ポイントを16通りまでセットできます。ご希望の位置にセットされたボタンを押すと、カメラの位置が変わります。 セット方法は以下を参照してください。

（撮影ポイントのセット）



①まず、カメラの位置をセットしたい位置に移動させます。
②「セット」ボタンをクリックします。
③セットしたい番号を選びクリックします。
以上でセットは完了です。続けてセットしたい場合は①～③の手順で続けてください。終了する場合は、右端の「×」印でセット画面を閉じてください。

（セットした撮影ポイントを呼び出す）



①「呼び出し」ボタンをクリックします。
②呼び出したい位置の番号をクリックします。
③カメラが呼び出した位置まで移動します。

パン/チルト コントロール 	矢印の方向へカメラの方向を動かします。 真ん中を押すと、左右に350° 上下に120° 旋回を行い正面へ戻ります。 途中で停止させたい場合は、上下左右の矢印のボタンをクリックしてください。
各種機能ボタン	
	カメラが上下方向へ、最大幅で垂直移動します。停止させる場合は、再度クリックします。停止させなければ1時間垂直移動を継続します。
	カメラが左右方向へ、最大幅で水平移動します。停止させる場合は、再度クリックします。停止させなければ1時間水平移動を継続します。
	クリックすると、画像の上下が逆転します。天井などに、カメラを逆さまに取り付けた場合などに使用します。
	クリックすると、画像が左右反転します。
	外部入出力スイッチをONにします。
	外部入出力スイッチをOFFにします。
	赤外線LEDライトのON/OFFを行います。夜間などの暗い環境での動作時に自動的に赤外線照明が点灯し、暗闇でのモノクロ映像撮影が可能です。ON時は赤文字、OFF時は白文字になります。 ※OFFの場合、暗闇の映像はほとんど見えませんのでご注意ください。
	カメラをパン/チルトさせるときの移動速度を設定します。 0～10の間で設定できます。 ※「0」に設定した場合は、パン/チルトコントロールボタンを長押ししなければ移動しません。
	画像の明るさ（光の反射量）を0～34まで調整できます。デフォルトは11に設定されています、赤い文字がカメラのデフォルトの明るさ、黄色い文字が設定中の明るさを表します。
	画像のコントラストを0～34まで調整できます。デフォルトは18に設定されています。赤い文字がカメラのデフォルトのコントラスト、黄色い文字が設定中のコントラストを表します。
	画像の彩度（鮮やかさ）を0～34まで調節できます。デフォルトは11に設定されています。赤い文字がカメラのデフォルトの彩度、黄色い文字が設定中の彩度を表します。
	画像の色相（色合い）を0～34まで調整できます。デフォルトは18に設定されています。赤い文字がカメラのデフォルトの色相、黄色い文字が設定中の色相を表します。

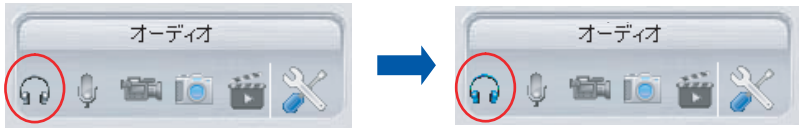
分割画面選択



映像表示画面の分割を行います。
1画面表示、4分割画面表示、9分割画面表示の3種類から選択できます。

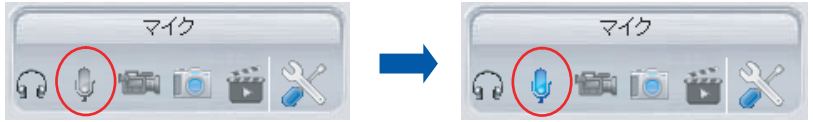
オーディオ

カメラ設置側のリアルタイムの音声を聞くことができます。
クリックして青色に変わると、オーディオ機能が有効になります。



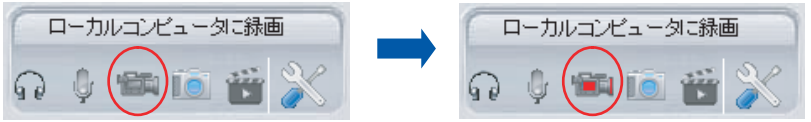
マイク

カメラ設置側と会話をすることができます。
クリックして青色に変わると、マイク機能が有効になります。



ローカルコンピュータに録画

ローカルコンピューターへの録画を行います。クリックするだけで録画が開始します。録画中は、赤色に変わります。
録画データの保存先などの詳細設定については、60ページをご参照ください。



静止画

映像の写真を撮影することができます。
クリックすると、設定した保存先に撮影した写真が保存されます。
写真の保存先などの詳細設定については、60ページをご参照ください。

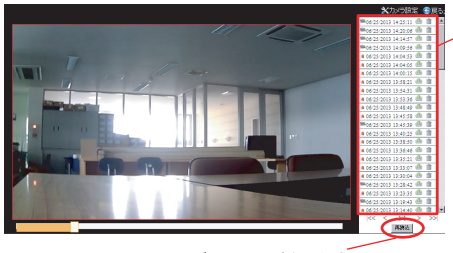


録画ファイルの再生

カメラ本体に挿入されたマイクロSDカードに保存された、録画データ（アラーム録画も含む）を再生します。クリックすると再生画面が表示されます。







全ての録画データが表示されます。再生したい録画データをクリックすると、再生がスタートします。

スケジュールや連続録画による録画データ

アラームによる録画データ

録画データをダウンロードします

録画データを削除します

データを更新します

※ダウンロードした録画データは、H.264に対応したプレーヤーなどでないと再生できません。予め無料のVLCプレーヤーなどをインターネットからダウンロードするなどしてお使いください。

カメラ設定

ここからカメラの様々な詳細設定ページへ入ります。

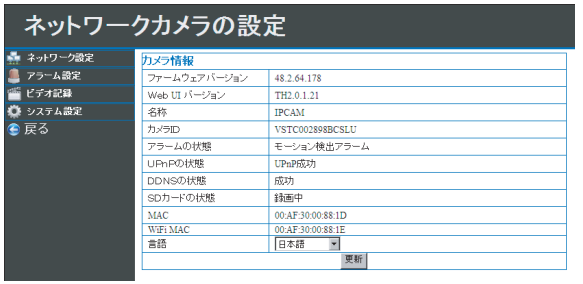


4.3　WEB設定

49ページのカメラ設定ボタンからWEB設定ページに入り、カメラの各種詳細設定がおこなえます。

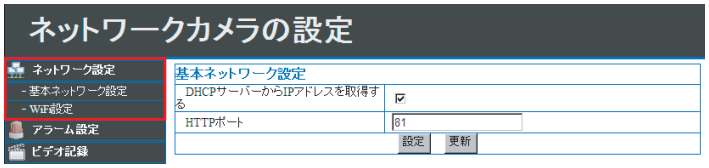


設定ボタンをクリックすると、以下のネットワークカメラの設定ページが表れ、現在のカメラの情報が表示されます。



4.3.1　ネットワーク設定

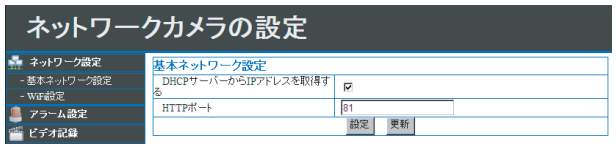
ネットワークの基本的な設定を行うことができます。
IPアドレスや無線LANの設定・変更はこのページから行ってください。



【基本ネットワーク設定】

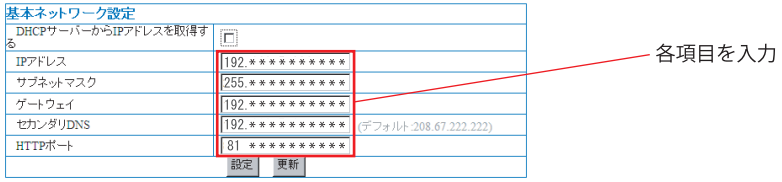
ここからIPアドレスの設定・変更をおこなってください。
本製品は、DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得、または固定IPアドレスを割り当てることができます。IPアドレスを自動的に取得する場合は「DHCPサーバーからIPアドレスを取得する」にチェックを入れ、固定IPアドレスを割り当てる場合はチェックをはずし、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、セカンダリDNS、HTTPポートを入力し、設定してください。

●DHCPサーバーからIPアドレスを取得する場合



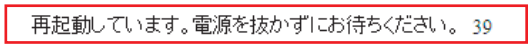
※他の機器でポート81を使用している場合は、ポート番号を変更する必要があります。

●固定IPアドレスを割り当てる場合



全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

設定後、以下のようなカメラ再起動のカウント画面が表れますので、カウントが終了するまで電源を切ったりせずに、しばらくお待ちください。



カウント終了後、WEB設定画面が切断されますので、画面を閉じて再度WEB設定画面へログインしてください。

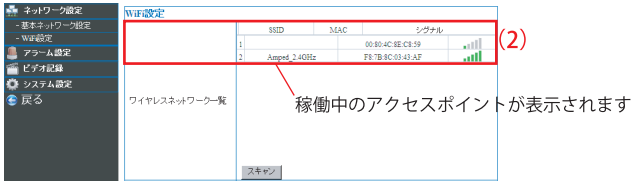
【WiFi設定】

本製品の無線LAN接続設定を行います。以下の手順に従い設定を行ってください。
（※有線接続の場合や、P25のWiFi設定をおこなった場合は、ここでの設定は不要です。）

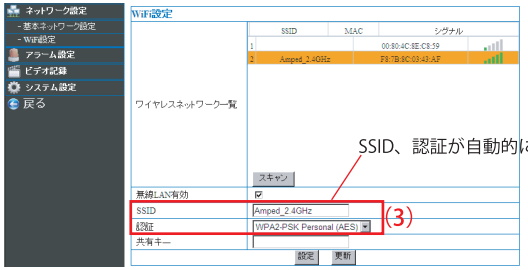
（1）「無線LAN有効」にチェックをつけ、「スキャン」をクリックします。



（2）本製品が認識した、稼働中のアクセスポイントが表示されます。

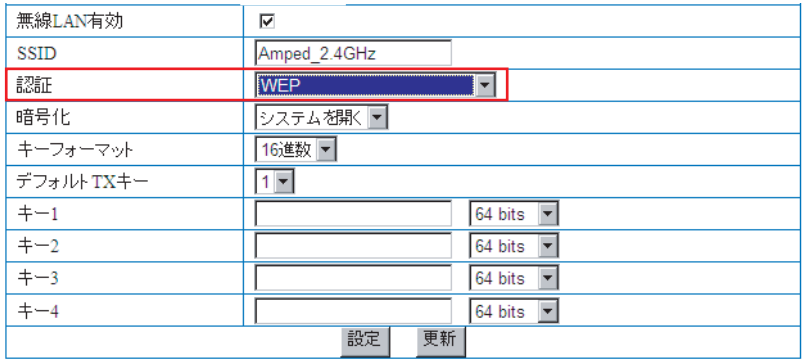


（3）接続するアクセスポイントをクリックし選択すると、選択したアクセスポイントの無線LAN設定内容が以下の画面に自動的に入力されます。



（4）アクセスポイントの情報を登録します。アクセスポイントの認証のタイプにより必要な情報を入力してください。
認証タイプ別の設定内容に関しては、次ページをご参照ください。

●WEPの場合

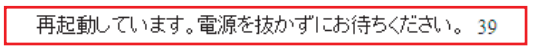


① SSID・認証・暗号化を確認してください。
(アクセスポイントを選択した際に自動入力されますので変更しないでください)
② キーフォーマットの形式を選択します。
●キーが半角英数の場合は「ASCII」を、16進数の場合は「16進数」を選択します。
③ デフォルトTXキーを選択します。選択するデフォルトTXキーは接続するアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
④ WEPキーを入力し、WEPキーの長さを選択します。WEPキーの長さは以下を参照してください。

アクセスポイントのWEPキー	WEPキーの長さ
WEPキーが5文字の半角英数のとき	「64bit」
WEPキーが10桁の16進数のとき	「64bit」
WEPキーが13文字の半角英数のとき	「128bit」
WEPキーが26桁の16進数のとき	「128bit」

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

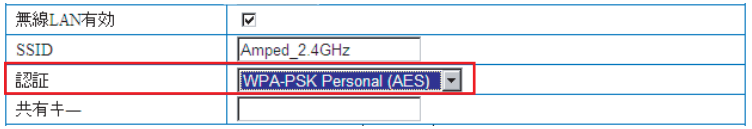
設定後、以下のようなカメラ再起動のカウント画面が表れますので、カウントが終了するまで電源を切ったりせずに、しばらくお待ちください。



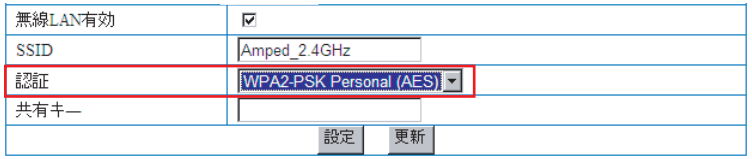
カウント終了後、WEB設定画面が切断され、カメラが再起動します。
カメラからLANケーブルを抜き、画面を閉じて再度WEB設定画面へログインしてください。映像が閲覧できればWiFi接続成功です。閲覧できない場合は再度有線で接続して、設定しなおしてください。

●WPA-PSK/WPA2-PSKの場合

【WPA-PSK】



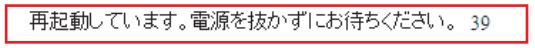
【WPA2-PSK】



① SSID・認証を確認してください。
認証の「AES」「TKIP」の選択を間違えないようにしてください。
② 「共有キー」を入力します。

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

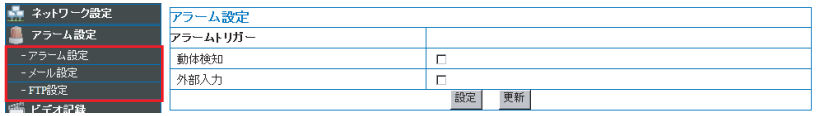
設定後、以下のようなカメラ再起動のカウント画面が表れますので、カウントが終了するまで電源を切ったりせずに、しばらくお待ちください。



カウント終了後、WEB設定画面が切断され、カメラが再起動します。
カメラからLANケーブルを抜き、画面を閉じて再度WEB設定画面へログインしてください。映像が閲覧できればWiFi接続成功です。閲覧できない場合は、再度有線で接続して、設定しなおしてください。

4.3.2 アラーム設定

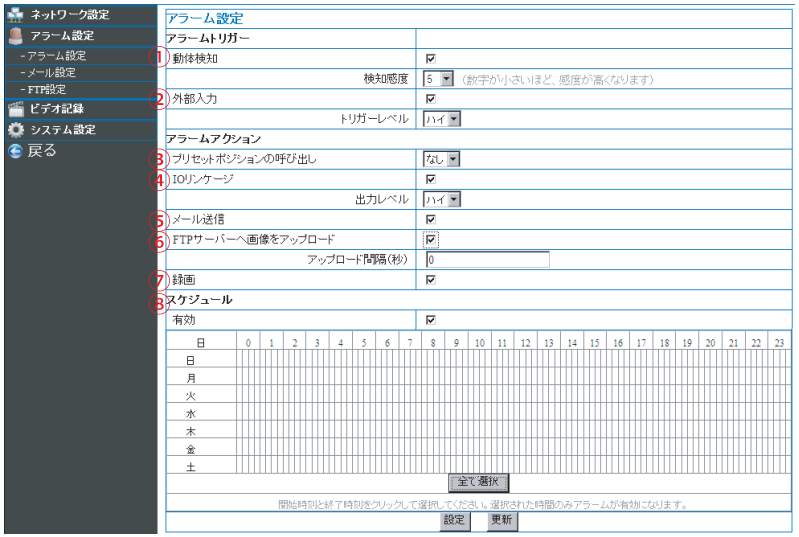
「アラーム設定」では、「アラーム設定」「メール設定」「FTP設定」の3つの設定がおこなえます。



各設定については、次ページからの説明をご参照ください。

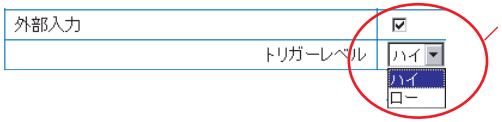
【アラーム設定】

アラーム条件や動作、スケジュールなどの詳細設定がおこなえます。
アラーム動作条件を選択後、通知方法の詳細設定をおこなってください。
設定項目の内容は以下の通りです。



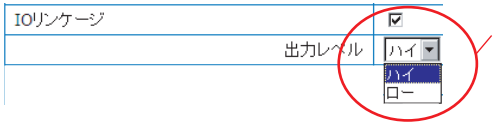
①動体検出によりアラーム出力をおこないたい場合にチェックをいれます。
検出感度は1～10まで選択でき、1（最高）5（中）10（最低）と、数字が小さいほど高感度になります。設置環境に合わせて調節してください。

②緊急通報連動システムなどからの外部入力(信号)によるアラーム出力をおこないたい場合にチェックをいれます。



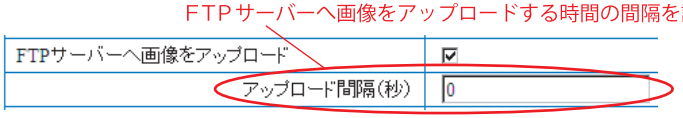
③アラームにより、1～16のあらかじめ設定したプリセットポジションにカメラの向きを移動させます。(※プリセットポジションの設定方法は46ページ４.２をご参照ください。)

④アラームにより、外部接続機器から警報などを鳴らす場合に使用します。



⑤カメラが撮影した画像付きのメールを、パソコンやスマートフォンに送信します。

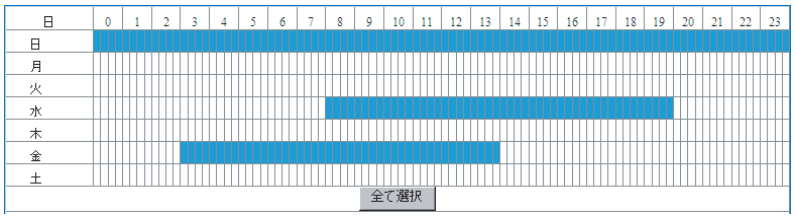
⑥FTPサーバーへカメラが撮影した画像をアップロードします。



⑦アラームにより、マイクロSDカードへの録画を開始します。

⑧アラームスケジュールを設定します。スケジュールを設定すると、その期間だけアラーム機能が有効になります。

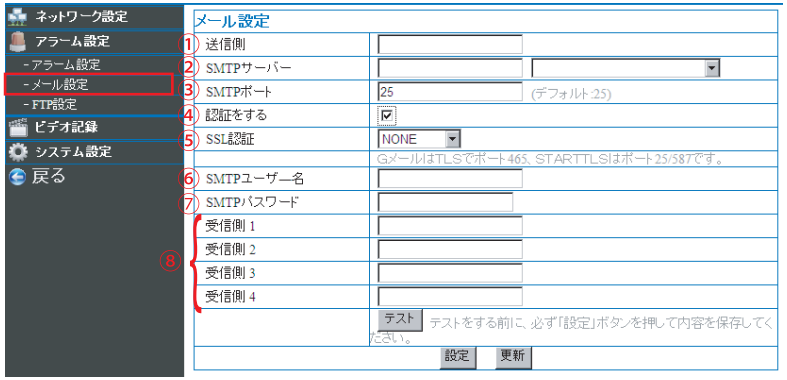
【設定方法】
1マスが15分刻みです。青がスケジュール設定された時間、白がスケジュール設定していない時間を表します。スケジュール録画開始時刻のマスをクリックし、次に録画終了時刻のマスをクリックすると、設定した時間内のマスが青色に変わります。
全てを選択したい場合は「全て選択」をクリックすると、一度に全てのマスを選択できます。
または「全て選択」で全てを選択後、録画指定しない時間のマスを選択してください。
スケジュールを取り消す場合は、再度マスをクリックして、白いマスに戻してください。



全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

【メール設定】

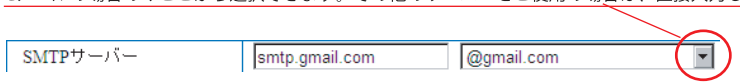
アラーム通知の際のメール送信やメールサーバーの設定をおこないます。



①カメラが使用するメールアドレスです。設定するSMTPサーバーに対応したメールアドレスを設定してください。

②メールの送信サーバーを設定します。分からない場合は、メールソフトでお使いのSMTPサーバーをご確認ください。またはネットワーク管理者、インターネットプロバイダーにお問い合わせください。

Gメールの場合のみここから選択できます。その他のサーバーをご使用の場合は、直接入力してください。

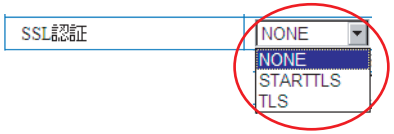


③送信メールサーバーのポート番号を設定します。デフォルトの設定は25です。

④ご使用のSMTPサーバーが認証を必要とする場合に設定してください。通常は認証が必要です。

※SMTP認証について
SMTP認証とは、メールを送信する前に必ずメールソフトとメールサーバがユーザーアカウントとパスワードをやり取りして認証することで、SMTPサーバーの不正利用を防止します。本製品はSMTP認証に対応しておりますが、プロバイダーが採用している認証方法によってはメール転送機能が使用できません。
その場合は、Googleよりアカウントを作成後、Gメールアドレスを取得し、Gメールサーバーを使用して設定してください。(Googleアカウント取得は無料でおこなえます。)

⑤メール送受信時の暗号化の種類を選択します。



⑥ご使用のSMTPサーバーのユーザー名を入力します。

⑦ご使用のSMTPサーバーのパスワードを入力します。

⑧メールアラームの受信側メールアドレスを最大4つまで設定できます。

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

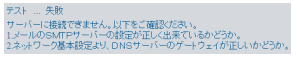
※メール送信のテストは、必ず「設定」ボタンを押して内容を保存した後におこなってください。



●送信成功の場合、以下の画面が表示されます。メールの受信BOXからメールを確認してください。

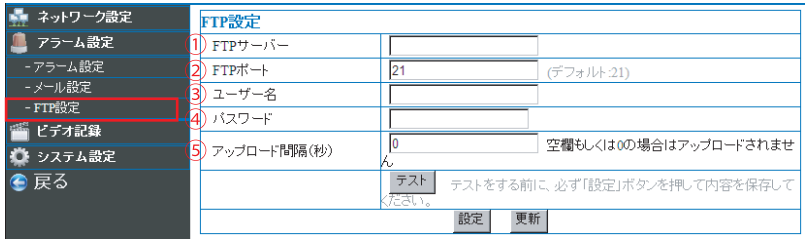


●送信失敗の場合、以下の画面が表示されます。もう一度設定内容を確認して、再度設定を行ってください。



【FTP設定】

FTPサーバーの設定を行います。アラーム通知の際、ここで設定したFTPサーバーに画像がアップロードされます。



①FTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

②ご使用のFTPサーバーのポート番号を入力します。デフォルトの 設定は21です。

③ご使用になるFTPサーバーのユーザー名を入力します。

④ご使用になるFTPサーバーのパスワードを入力します。

⑤FTPサーバーへの画像アップロードの間隔を設定します。
※0または空欄の場合、画像はアップロードされません。

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

※FTPサーバーへの画像アップロードのテストは、必ず「設定」ボタンを押して内容を保存した後におこなってください。



●送信成功の場合、以下の画面が表示されます。FTPサーバーより確認してください。



●送信失敗の場合、以下の画面が表示されます。もう一度設定内容を確認して、再度設定を行ってください。

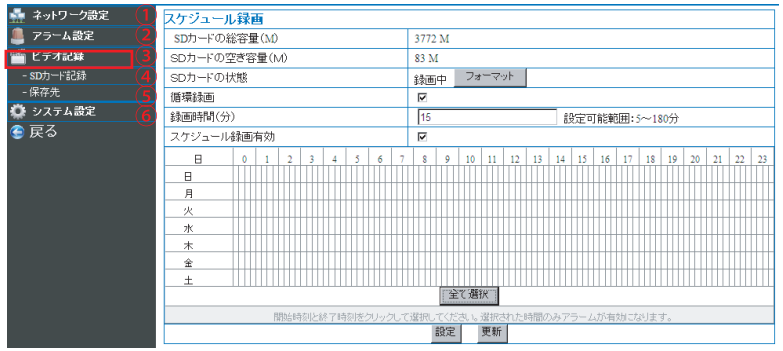


4.3.3 ビデオ記録

ビデオ記録では、「SDカード記録」「保存先」の２つの設定がおこなえます。

【SDカード記録】

マイクロSDカードへのスケジュール録画詳細設定をおこないます。



①挿入されているマイクロSDカードの容量を表示します。

②挿入されているマイクロSDカードの空き容量を表示します。

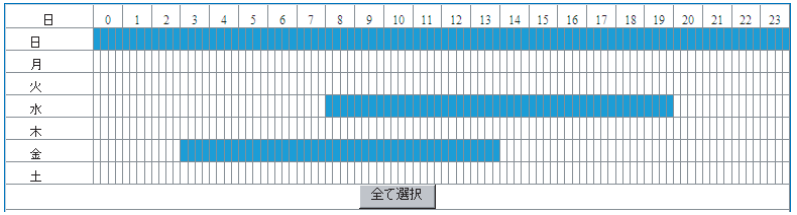
③挿入されているマイクロSDカードの状態を表示します。マイクロSDカードをフォーマットしたい場合は「フォーマット」をクリックします。

④マイクロSDカードの容量がいっぱいになった場合、古いデータから上書きして録画します。

⑤録画データ１ファイルの時間を設定します。5分～180分の間で選べます。
（例：5分にした場合、映像が5分刻みで録画されます）

⑥設定したスケジュールの間録画をおこないます。

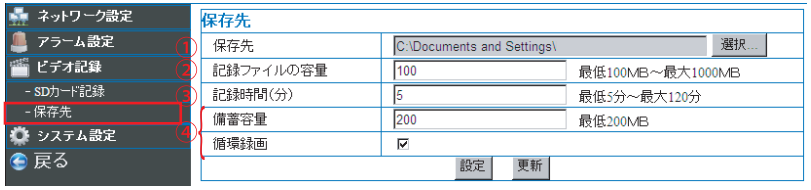
【設定方法】
１マスが15分刻みです。青がスケジュール設定された時間、白がスケジュール設定していない時間を表します。スケジュール録画開始時刻のマスをクリックし、次に録画終了時刻のマスをクリックすると、設定した時間内のマスが青色に変わります。
全てを選択したい場合は「全て選択」をクリックすると、一度に全てのマスを選択できます。
または「全て選択」で全てを選択後、録画指定しない時間のマスを選択してください。
スケジュールを取り消す場合は、再度マスをクリックして、白いマスに戻してください。



全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

【保存先】

映像視聴画面のコントロールパネルの「ローカルコンピューターに録画」、「静止画」(P48をご参照ください）で撮影した動画と静止画の保存に関する詳細設定がおこなえます。



①録画データと撮影した静止画のデータを保存する場所を設定します。参照をクリックして選択してください。

②録画データファイル1つあたりの最大容量を設定します。
(例）100MBで設定し、実際の録画データが200MBであった場合、100MBの録画ファイルが２つできます。

③録画データの記録時間（長さ）を設定します。
(例）30分で設定した場合、30分ごとで録画データが保存されます。

④①で指定したデータ保存場所の、データ保存のための空き容量と、空き容量が無くなった場合の動作をあらかじめ設定します。
循環録画にチェックを入れると、保存データが指定した容量に達した場合、古いデータから上書きして録画します。
循環録画にチェックが入っていない場合は、保存データが指定した容量に達した場合、録画を停止します。

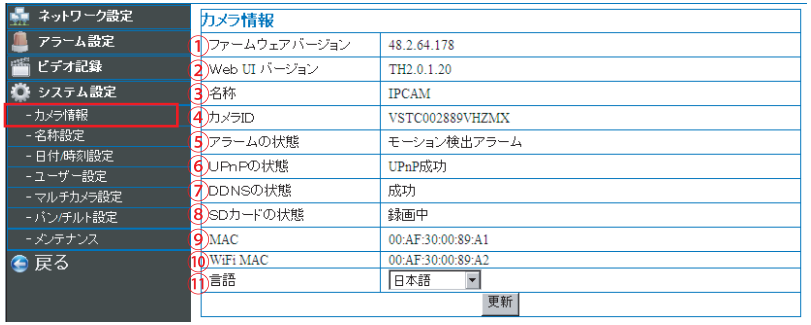
全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

4.3.4　システム設定

システム設定では、カメラ情報の確認、メンテナンスなどのほかに「名称設定」「日付/時刻設定」「ユーザー設定」「マルチカメラ設定」「パン/チルト設定」などの5つの設定がおこなえます。

【カメラ情報】

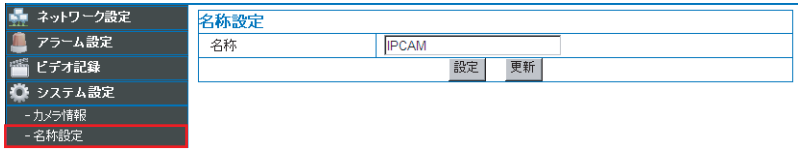
カメラの詳細情報が確認できます。



①カメラファームウェアのバージョン　②Web UIのバージョン　③カメラの名前
④カメラのID番号　⑤アラーム状況　⑥UPNPの状態　⑦DDNSの状態
⑧SDカードの状態⑨カメラMACアドレス　⑩WiFi MACアドレス　⑪言語

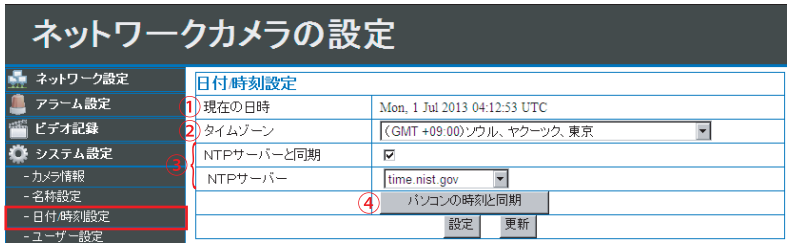
【名称設定】

カメラの名称設定がおこなえます。



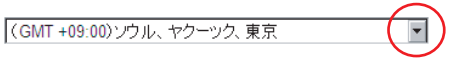
【日付/時刻設定】

NTPサーバーもしくはパソコンを通じて、カメラの日付と時間を設定します。

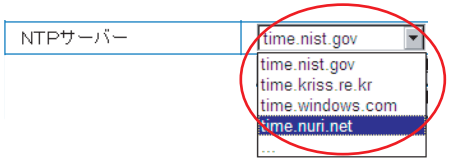


①カメラに設定されている時刻を表示します。

②メニューの中から、ご使用の地域のタイムゾーンを選択してください。



③NTPサーバーと同期します。同期するNTPサーバーのホスト名を、メニューの中から選択してください。

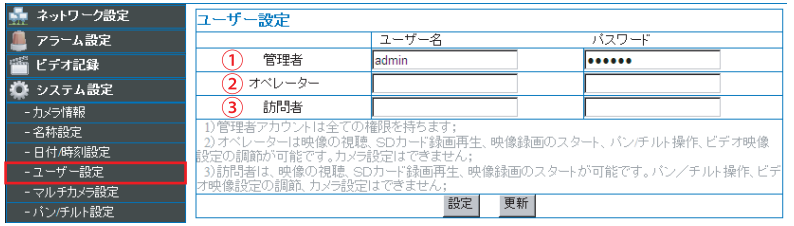


④カメラの時刻をパソコンに設定された時刻と同期する場合に選択します。

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

【ユーザー設定】

カメラのアクセスアカウントとパスワードを設定します。
カメラの管理者、オペレーター、訪問者をそれぞれ分けられます。各ユーザーごとに機能の制限が異なります。



各ユーザーの詳細については次ページの説明をご参照ください。

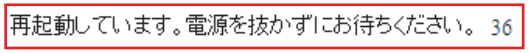
①全ての権限を持ちます。カメラの視聴や詳細設定など、全ての機能が使用できます。
（※変更したユーザー名とパスワードを忘れた場合、カメラを工場出荷時の状態にリセットしなければなりませんのでご注意ください。また、管理者アカウント変更後は視聴ソフト「PnPスーパークライアント」のパスワードも、再度設定する必要があります。）

②映像の視聴、マイクロSDカード録画再生、映像録画のスタート、パン/チルト操作、ビデオ映像設定の調節が可能です。WEB設定はできません。

③映像の視聴、マイクロSDカード録画再生、映像録画のスタートが可能です。パン/チルト操作、ビデオ映像設定の調節、WEB設定はできません。

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

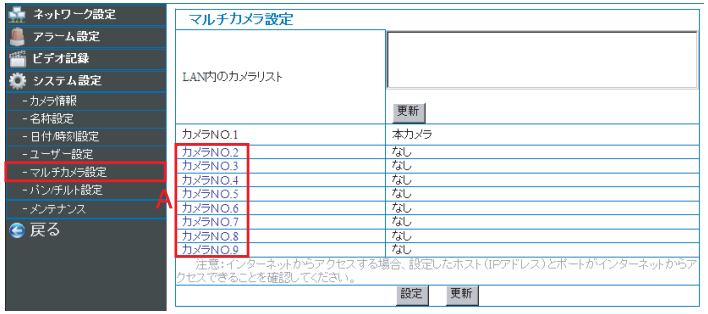
設定をクリックすると、カメラが再起動します。



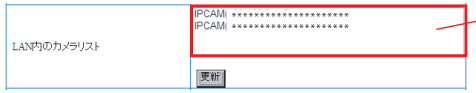
再起動後は、変更したユーザー名とパスワードで再度WEB設定画面にログインしてください。

【マルチカメラ設定】

WEBブラウザからは、複数のカメラを同時に最大9分割画面で視聴できます。本製品は、ローカルエリア内のカメラの「自動追加機能」に対応しています。

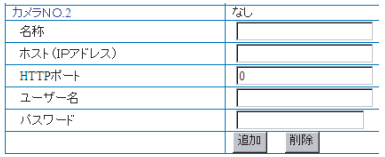


1）更新をクリックすると、ローカルエリア内に設置されている全てのカメラを検索し、表示します。（※本カメラも含みます）

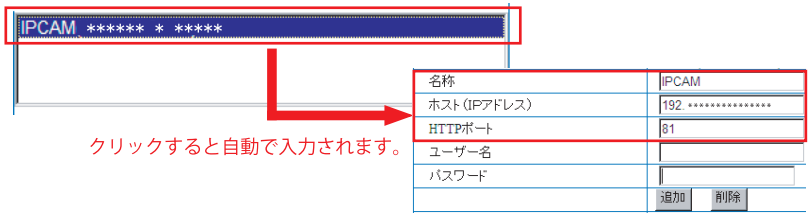


IPアドレスが表示されます

2）Aの中から登録したい番号をクリックすると以下の登録画面が表示されます。



3）カメラリストの中から登録したいカメラのIPアドレスをクリックすると、自動的にカメラの名前・ホスト（IPアドレス）・HTTPポートが入力されます。内容を取り消したい場合は削除をクリックしてください。



クリックすると自動で入力されます。

4）カメラのユーザー名・パスワードを入力し、「追加」をクリックします。

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

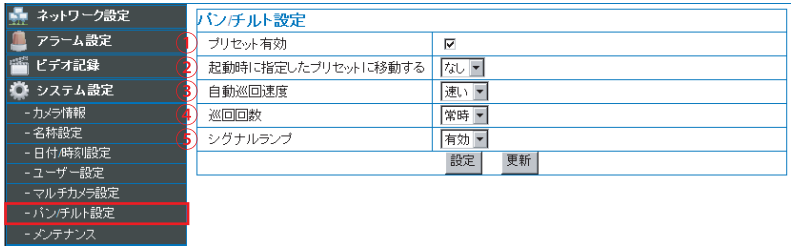
5）視聴画面に戻り、4分割、9分割いずれかの画面を開き映像を確認してください。



※WEBブラウザからの複数台管理の場合、パン/チルトやその他の動作が遅くなる場合があります。

【パン/チルト設定】

パン/チルト動作などに関する詳細設定がおこなえます。



①プリセットポジション機能を有効にします。チェックを外すと、設定したプリセットポジションへの移動がおこなえません。

②カメラ起動時に予め設定したプリセットポジションへカメラを移動させます。「なし」を選択した場合は移動しません。

③自動巡回時の巡回速度を設定します。

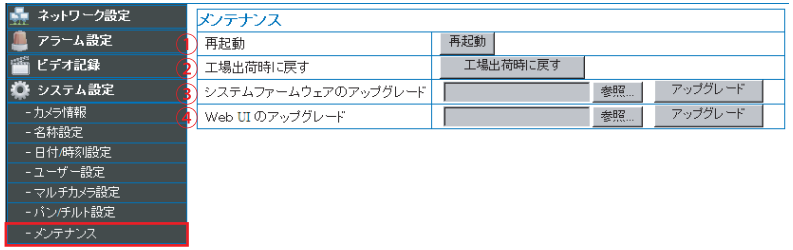
④巡回回数を設定します。

⑤シグナルランプの有効・無効を設定します。
（シグナルランプは外部入出力機器を接続の場合のみ作動します。）

全ての詳細設定が終わったら、「設定」をクリックし、内容を保存してください。

【メンテナンス】

カメラソフトウェアのメンテナンス、設定内容の初期化などをおこないます。

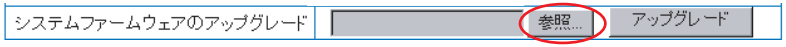


①カメラの再起動をおこないます。

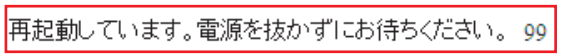
②カメラの設定を全て、工場出荷時の状態に戻します。
（※スケジュールなど詳細設定も全て削除されますのでご注意ください。）

③カメラ内部のシステムファームウェアのアップデートをおこないます。

弊社ホームページより最新のファームウェアをダウンロードした場合におこなってください。
「参照」をクリックし、ダウンロードしたファイルを選択し「アップグレード」でアップグレードをおこなってください。



以下の表示が出て、カメラが再起動します。カウントが終わるまでそのままでお待ち下さい。

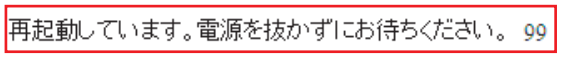


④WEBUI（WEB設定画面）のアップグレードをおこないます。

弊社ホームページより最新のファームウェアをダウンロードした場合におこなってください。
「参照」をクリックし、ダウンロードしたファイルを選択し「アップグレード」でアップグレードをおこなってください。



以下の表示が出て、カメラが再起動します。カウントが終わるまでそのままでお待ち下さい。



第５章:Androidスマートフォンからの視聴

本製品は、Androidスマートフォン･iPhone/iPad・その他タブレット端末からの視聴に対応しています。

５.１　視聴用アプリケーションのダウンロードと起動

Androidスマートフォンやタブレットで映像を見るには、Android用のアプリケーション(無料)のダウンロードが必要です。
「Playストア」から視聴用アプリ『RCC PnPCam』を検索しダウンロードしてください。



RCC PnPCam

ダウンロードが完了したら、『RCC PnPCam』を起動します。

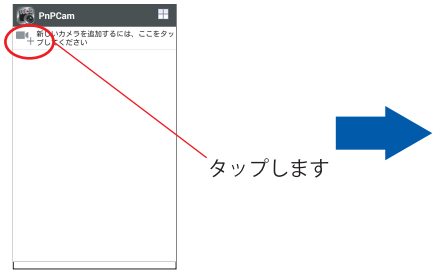


※アプリケーションのデザインや内容は更新により変更する場合がございます。予めご了承ください。

５.２　カメラの登録と視聴

設置したカメラの登録をおこないます。以下の手順に従って登録をおこなってください。

1）アプリを起動させると以下の画面が表示されます。画面の【+】をタップします。カメラ登録画面が表示されます。



登録画面が表示されます

2）カメラの名前・UID・パスワードを登録します。登録方法詳細については以下をご参照ください。

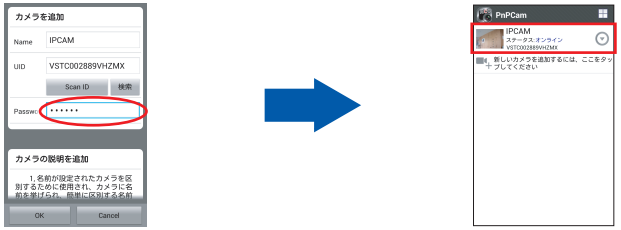
【カメラと同じネットワークに接続されている場合】

①「検索」をタップすると、同じネットワークに接続されているカメラのUIDが表示されます。登録したいカメラのUIDをタップすると、自動的にUIDが入力されます。



検索をタップ　　UIDを選択　　UIDが入力されます

②名前と付属のID/パスワードカードに記載されたパスワードを入力し、OKをクリックし、登録完了です。



パスワードを入力　　登録完了

【カメラと違うネットワークに接続されている場合】

カメラの名前・UID・付属のID/パスワードカードに記載されたパスワードを直接入力し、OKをクリックしたら登録完了です。

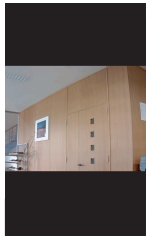
【QRコードを使う場合】

①「Scan ID」をクリックすると、スキャン画面が表示されます。カメラ本体底面のQRコードに画面を合わせると、自動的にUIDが入力されます。名前とパスワードを入力し、OKをクリックして登録完了です。



QRコードをスキャン　　UIDが入力されます　　登録完了

3）登録されたカメラ名をタップすると、映像が表示されます。

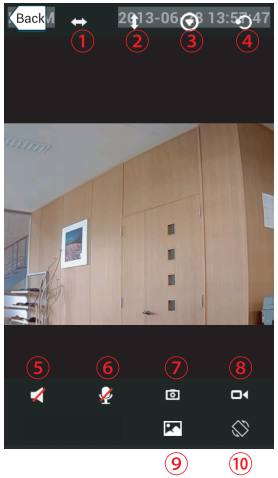


5.3　映像のコントロール

スマートフォンから映像のコントロールができます。

1）カメラの向きを動かす場合、動かしたい方向とは逆の方向に、画面を指でなぞると、カメラの向きが移動し様々な方向が確認できます。

2）表示された画面を指でタップすると、様々なメニューボタンが表示されます。
各機能については以下をご参照ください。



①左右に水平移動を繰り返します。再度タップすると停止します。

②上下方向に垂直移動を繰り返します。再度タップすると停止します。

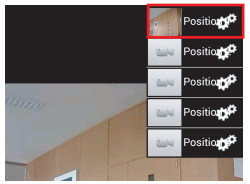
③映像の様々な設定がおこなえます。
(明るさ/コントラストの調節・上下/左右反転・初期値に戻す・周波数の設定・赤外線照明のON/OFF)

④プリセットポジションを設定します。
設定したいポジションにカメラを移動させ、 

をタップします。
確認の画面が表示されますので、OKをクリックします。
クリックすると、ポジションの画像が設定されます。



OKをクリック



ポジションの写真が表示されます。

⑤オーディオのON/OFFをおこないます。ONにするとカメラ設置場所の音が聞こえます。(マイクがONの場合、視聴側には聞こえません。)

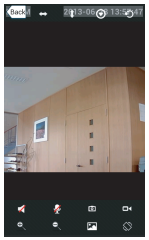
⑥マイクのON/OFFをおこないます。ONにすると視聴側の音声がカメラ設置場所に聞こえます。(オーディオがONの場合、カメラ設置場所には聞こえません。)

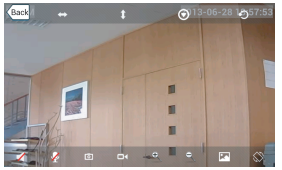
⑦スナップショットを撮影します。

⑧映像の録画をおこないます。

⑨解像度を設定します。

⑩画像を横向きに回転させます。

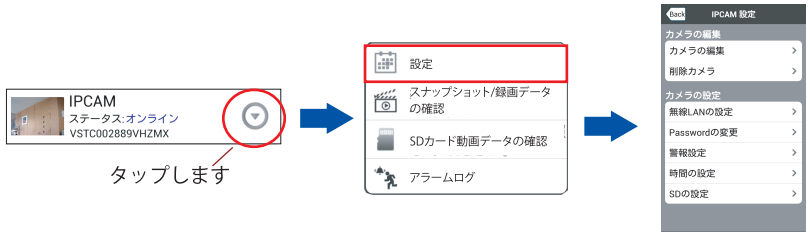




5.4　設定

ここでは、「カメラ編集」「カメラ削除」「無線LAN設定」「パスワード変更」「アラーム設定」「日付/時刻設定」「SDカード設定」がおこなえます。

設定画面を開きます。カメラ名横の矢印をタップすると、以下のメニューが表示されます。「設定」をタップして、設定ページを開いてください。



各設定の詳細は以下をご参照ください。

【カメラ編集】

カメラ名、UID、パスワードなど、カメラ登録情報が編集できます。

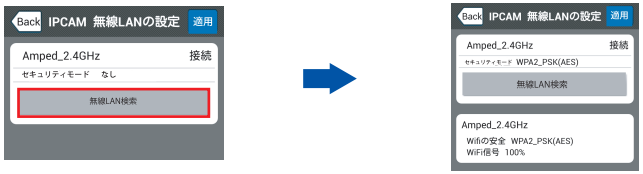
【カメラ削除】

登録したカメラを削除します。

【無線LAN設定】

カメラの無線LAN接続設定がおこなえます。

①「無線LAN検索」をタップします。稼働中のSSIDが表示されたら、接続したいSSIDを選択します。



②パスワードが必要な場合は、パスワードを入力して「適用」をクリックします。LANケーブルをカメラから抜いて、無線接続完了です。



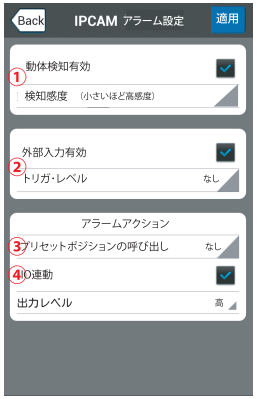
【パスワード変更】

カメラのパスワードを変更します。新しいパスワードを入力し「適用」をクリックしてください。変更後、カメラが再起動します。



【アラーム設定】

アラームの詳細設定がおこなえます。



①動体検知した場合、アラーム通知します。
1～10の検知感度を選択できます。小さいほど高感度です。設置環境に合わせて設定してください。

②緊急通報連動システムなどの外部入力により、アラーム通知します。トリガ・レベルを高/低で選択できます。

③アラームによりあらかじめ設定したプリセットポジションに移動します。

④アラームにより、外部接続機器よりアラームを鳴らします。出力レベルを高/低で選択できます。

【日付/時刻設定】

カメラの時刻設定がおこなえます。



①カメラの現在時刻を表示します。

②カメラ設置場所のタイムゾーンを選択します。

③NTPサーバーと同期する場合にチェックをつけます。
4つのNTPサーバーの中から選択してください。

④電話(タブレット）の時刻と同期します。

【SDカード設定】

SDカードの状況確認や、SDカード録画の詳細設定がおこなえます。



①カメラに挿入されたマイクロSDカードの総容量を表示します。

②カメラに挿入されたマイクロSDカードの残容量を表示します。

③マイクロSDカードの動作状況を表示します。「フォーマット」でマイクロSDカードの初期化もおこなえます。

④マイクロSDカードの容量がいっぱいになった場合、古いデータから上書きして録画します。

⑤録画ファイルの時間を設定します。設定した分数ごとで録画されます。

⑥スケジュール録画を有効にします。

5.5　スナップショット/録画データの確認

視聴中に撮影したスナップショットと録画データの確認ができます。



●スナップショットの確認

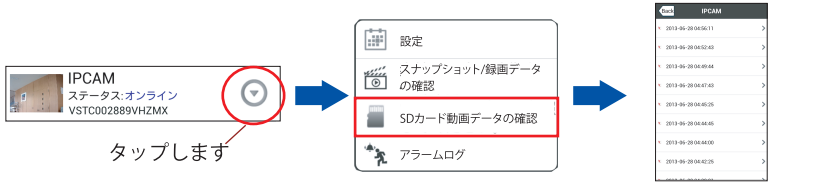


●録画データの確認

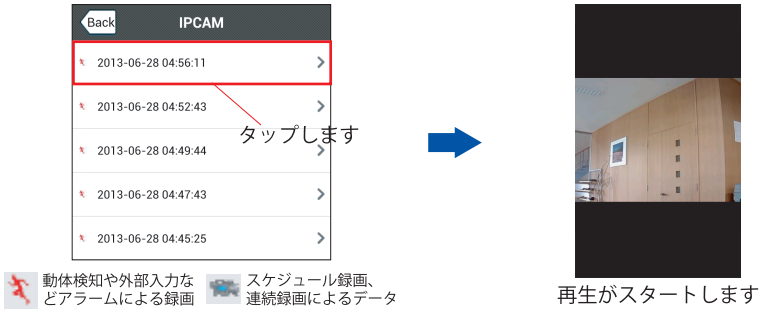


5.6　SDカード動画データの確認

カメラに挿入されたマイクロSDカード内の録画データを確認できます。

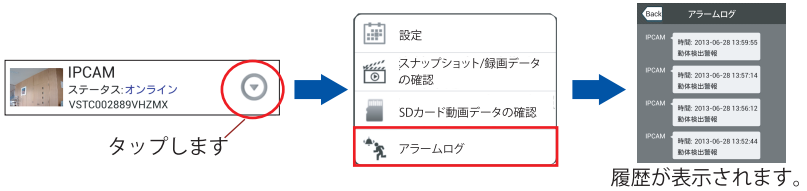


再生したいデータをタップすると、再生がスタートします。



5.7　アラームログ

アラーム動作の履歴が確認できます。



アラーム履歴をタップすると、現在のカメラ映像画面を確認できます。



5.8　4画面表示

最大4台まで分割画面で確認できます。カメラリストの分割画面ボタンをタップすると、4画面表示に切り替わり、4台同時に視聴できます。



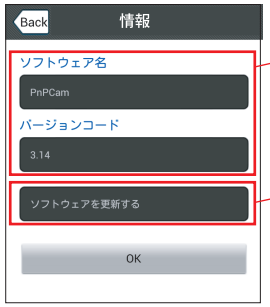
5.9　ソフトウェア情報

アプリケーションについての情報が確認できます。

①スマートフォンのMENUボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



②「情報」をタップすると以下の画面が表示され、ソフトウェアについての情報が確認できます。



ソフトウェア詳細がわかります。

ソフトウェアの更新情報がわかります。

第６章:iPhone/iPadからの視聴

本製品は、iPhone/iPadからの視聴に対応しています。

6.1　視聴用アプリケーションのダウンロードと起動

iPhone/iPadで映像を見るには、iOS専用のアプリケーション(無料)のダウンロードが必要です。「App store」から視聴用アプリ『RCC PnPCam』を検索しダウンロードしてください。



RCC PnPCam

ダウンロードが完了したら、『RCC PnPCam』を起動します。



※アプリケーションのデザインや内容は更新により変更する場合がございます。予めご了承ください。

6.2　カメラの登録と視聴

設置したカメラの登録をおこないます。以下の手順に従って登録をおこなってください。

1）アプリを起動させると以下の画面が表示されます。画面の【+】をタップします。カメラ登録画面が表示されます。



タップします



登録画面が表示されます

2）カメラの名前・UID・パスワードを登録します。登録方法詳細については以下をご参照ください。

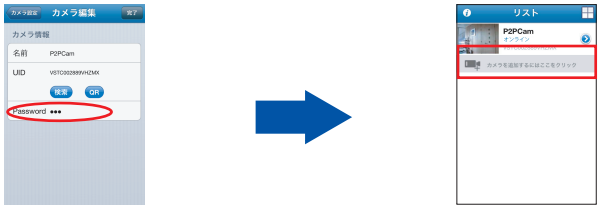
【カメラと同じネットワークに接続されている場合】

①「検索」をタップすると、同じネットワークに接続されているカメラのUIDが表示されます。登録したいカメラのUIDをタップすると、自動的にUIDが入力されます。



検索をタップ　　UIDを選択　　UIDが入力されます

②名前と付属のID/パスワードカードに記載されたパスワードを入力し、完了をクリックし、登録完了です。



パスワードを入力　　登録完了

【カメラと違うネットワークに接続されている場合】

カメラの名前・UID・付属のID/パスワードカードに記載されたパスワードを直接入力し、OKをクリックしたら登録完了です。

【ORコードを使う場合】

①「QR」をクリックすると、スキャン画面が表示されます。カメラ本体底面のQRコードに画面を合わせると、自動的にUIDが入力されます。名前とパスワードを入力し、完了をクリックして登録完了です。



QRコードをスキャン　　UIDが入力されます　　登録完了

3）登録されたカメラ名をタップすると、映像が表示されます。



6.3　映像のコントロール

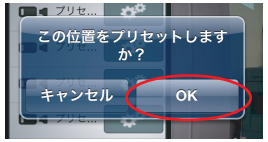
iPhoneから映像のコントロールができます。

1）カメラの向きを動かす場合、動かしたい方向とは逆の方向に、画面を指でなぞると、カメラの向きが移動し様々な方向が確認できます。

2）表示された画面を指でタップすると、様々なメニューボタンが表示されます。各機能については次ページをご参照ください。



①プリセットポジションを設定します。
設定したいポジションにカメラを移動させ、  をタップします。確認の画面が表示されますので、OKをクリックします。クリックすると、ポジションの画像が設定されます。



OKをクリック

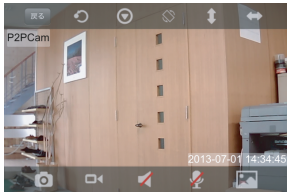


ポジションの写真が表示されます。

②映像の様々な設定がおこなえます。
（コントラスト/明るさの調節・左右反転/上下逆転）

③映像を横向きに反転させます。





④上下方向に垂直移動を繰り返します。再度タップすると停止します。

⑤左右方向に水平移動を繰り返します。再度タップすると停止します。

⑥スナップショットを撮影します。

⑦映像の録画をおこないます。

⑧オーディオのON/OFFをおこないます。ONにするとカメラ設置場所の音が聞こえます。(マイクがONの場合、視聴側には聞こえません。)

⑨マイクのON/OFFをおこないます。ONにすると視聴側の音声がカメラ設置場所に聞こえます。(オーディオがONの場合、カメラ設置場所には聞こえません。)

⑩画質を設定します。

6.4　カメラ設定

ここでは、「カメラ編集」「WiFi設定」「パスワード変更」「日付/時刻設定」「アラーム設定」がおこなえます。

カメラ設定画面を開きます。カメラ名横の矢印をタップすると、以下のメニューが表示されます。「カメラ設定」をタップして、設定ページを開いてください。



タップします





各設定の詳細は以下をご参照ください。

【カメラ編集】
カメラ名、UID、パスワードなど、カメラ登録情報が編集できます。

【WiFi設定】
カメラのWiFi(無線)接続設定がおこなえます。

①設定画面を開くと、稼働中のSSIDが検索され表示されます。表示されたら接続したい SSIDを選択します。



選択します

②パスワードが必要な場合は、パスワードを入力して「完了」をクリックします。
カメラが再起動します。LANケーブルをカメラから抜いて、WiFi接続完了です。





カメラからLANケーブルを抜いて
無線接続完了です。

【パスワード変更】

カメラのパスワードを変更します。新しいパスワードを入力し「完了」をクリックしてください。変更後、カメラが再起動します。



【日付/時刻設定】

カメラの時刻設定がおこなえます。



①カメラの現在時刻を表示します。

②カメラ設置場所のタイムゾーンを選択します。

③NTPサーバーと同期する場合にチェックをつけます。
4つのNTPサーバーの中から選択してください。

④ローカルの時刻と同期します。

【アラーム設定】

アラームの詳細設定がおこなえます。



①動体検知した場合、アラーム通知します。
高・中・低の検知感度を選択できます。設置環境に合わせて設定してください。

②緊急通報連動システムなどの外部入力により、アラーム通知します。トリガ・レベルを高/低で選択できます。

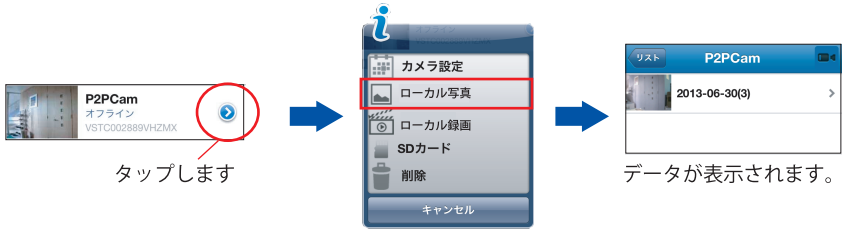
③アラームによりあらかじめ設定したプリセットポジションに移動します。

④アラームにより、外部接続機器よりアラームを鳴らします。出力レベルを高/低で選択できます。

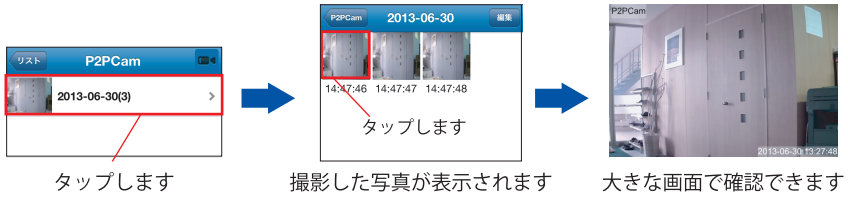
⑤アラームによりSDカードへの録画をおこないます。

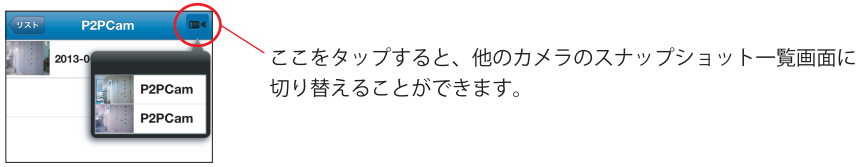
6.5　スナップショットの確認

視聴中に撮影したスナップショットの確認ができます。



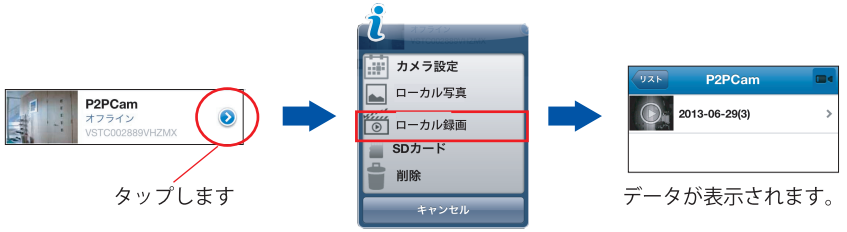
確認したい日付のデータをタップすると、写真の一覧が表示されます。確認したい写真をタップすると大きな画像が確認できます。





6.6　録画データの確認

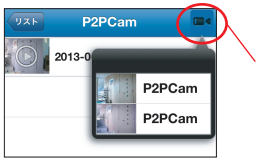
視聴中に撮影した録画データの確認ができます。



確認したい日付のデータをタップすると、動画の一覧が表示されます。再生したい動画をタップすると再生がスタートします。



タップします　撮影した動画が表示されます　再生がスタートします



ここをタップすると、他のカメラの動画一覧画面に切り替えることができます。

6.7　SDカード動画データの確認

カメラに挿入されたマイクロSDカード内の録画データを確認できます。



タップします　データが表示されます

確認したいデータ日付をタップすると、動画データー覧が表示されます。再生したいデータをタップすると再生がスタートします。



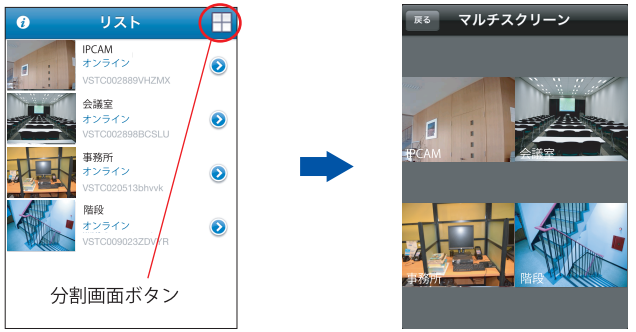
日付を選択します　再生がスタートします

動体検知や外部入力などアラームによる録画

スケジュール録画、連続録画によるデータ

6.8　４画面表示

最大4台まで分割画面で確認できます。カメラリストの分割画面ボタンをタップすると、4画面表示に切り替わり、4台同時に視聴できます。



6.9　ソフトウェア情報

アプリケーションについての情報が確認できます。

①カメラリスト左上の  をタップします。



②以下の画面が表示され、アプリケーションについての情報が確認できます。



RCC-9801 製品仕様

品名・型式	パン / チルト　ネットワークカメラ・RCC-9801	
システム	操作システム	組み込みLinux　OS
	セキュリティ	ユーザー権限の管理
	ユーザー	４ユーザーが同時にアクセス可能
	DDNS	無料DDNS
映像	イメージセンサー	1/4inch 720p　CMOS　　自動ホワイトバランス/自動ゲインコントロール/自動露出コントロール
	画素数	130万画素
	センサーサイズ	3.84mm×2.16mm
	SN 比	≧39dB
	最低照度	0.8Lux / F1.4(カラー）/0.3Lux / F1.4(白黒）
	レンズ/視野角	4.2mm F1.4 / 49.13
	暗視	デュアルフィルタ/IR-CUT /赤外線LED12個（850nmψ5mm） /赤外線照射距離10m
	デジタルズーム	４倍ズーム
ビデオ設定	圧縮形式	H,264 ベースラインプロファイル（レベル) 3.1 / Motion-JPEG
	解像度	720p/VGA/QVGA
	ビットレート	128～4096kbps
	最大フレームレート	30fps/24fps(720p)
	画質設定	コントラスト/明度/彩度/色相
オーディオ	入力	１チャンネルラインイン（3.5mmミニジャック） /マイク内蔵（48ｄB）
	出力	１チャンネルラインアウト(3.5mmミニジャック) /スピーカー内臓(8Ω1W）
	サンプリングレート	8KHz
	バンド幅	16bit
	圧縮フォーマット /ビットレート	ADPCM/32kbps
インターネット	イーサネット	10Base-T / 100Base-TX, RJ-45
	対応プロトコル	TCP/IP,HTTP,SMTP,FTP,DHCP,DNS,DDNS, NTP,UPnP,PPPoE,P2P etc
パン/チルト	動作範囲	パン：350°(±175°) ,チルト：120°(＋90°－30°)
	プリセットポジション	15
アラーム	アラームトリガー	１ch 入力 / 動体検知
	アラームによる動作	１ch 出力 /E-Mail による画像送信 /FTP サーバに画像をアップロード

無線LANインターフェース	変調方式	DBPSK, DQPSK, CCK, OFDM, 16-QAM, 64-QAM
	周波数	2.4GHz to 2.4835GHz
	チャンネル	14
	対応規格	802.11 n：90-150Mbps 802.11g：6-54Mbps 802.11b：1-11Mbps
	受信感度	150M:-68dBm@10%PER 130M:-68dBm@10%PER 108M:-68dBm@10%PER 54M:-70dBm@10%PER 11M:-88dBm@8%PER 6M:-90dBm@10%PER 1M:-92dBm@8%PER
	電波出力	15±1dBm@54Mbps/32±7mW@54Mbps
	アンテナ	2dBi　RSMA　アンテナ (取り外し可能）
	セキュリティ	WEP（64/128bit)/WPA-PSK/ WPA2-PSK(データ暗号化）
承認・認可	ワイヤレス	VCCI,技術基準適合証明
	電源装置	PSE , CE , FCC
インターフェース	リセットボタン	工場出荷時のデフォルトの状態に戻す
	microSD/SDHC	32GBまで動作確認済み
ハードウェア要件	CPU	1GHz
	メモリ	DDR2 512M 以上
環境	定格電圧	DC5±0.3V
	消費電力	通常：3.5W（赤外線LED オン） パン・チルト動作時：最大7W
	動作環境	温度:-10°～50°C , 湿度：10～90% (結露なきこと）
	保存環境	温度:-30°～70°C , 湿度：5～90% (結露なきこと）
		Androido Version2.1～4.0以上 / iOS
	対応OS	Windows XP / Vista / 7(32/64bit)
	ブラウザ	Internet Explorer (7以上）/ Firefox / Safari / Google
その他	本体サイズ	W:114mm D:121mm(アンテナ部分含む、D:145mm) H:121mm
	本体重量	354g（アンテナ取付時･取付プレート含まず）
	付属品	カメラ本体(アンテナ付き） ACアダプター・LANケーブル 取付プレート(壁面、天井可）&取付ネジ インストールCD・ID/パスワードカード 取扱い説明書（兼保証書）

MEMO

保証規定

本保証書は、以下の記載されている補償内容に基づき、保証期間中に生じた本製品の故障、破損に対して無償で修理するものです。

本製品の付属の取扱説明書に記載されている内容や、本体に貼付のラベル等の指示に従って使用した状況で生じた故障、損傷、破損に対して保証いたします。

本保証書に記入漏れがある場合は、保証対象外となります。

保証期間内にあっても以下の場合は保証対象外とさせていただきます。

1．本保証書のご提示のない場合。

2．本保証書を紛失された場合。

3．本保証書にあるご記入欄の字句の書き換え、書き加えられている場合。

4．本保証書の所定記入欄や販売店記入欄に記入されていない場合。

(1) お買上げ後の輸送時や移動時に落下させていたなど、その他不適切なお取り扱いによって本製品に故障、損傷、損失が発生した場合。

(2) 事故として証明できない盗難、置き忘れ、ならびに詐欺などによって本製品に故障、損傷、損失が生じた場合。

(3) 取扱説明書や貼付ラベルに反した不適当なお取り扱いによって本製品が故障、損傷した場合。

(4) 火災、自信、水害、落雷などの天災や天変地異によって本製品が故障、損傷した場合。

(5) ガス害や塩害などの公害や異常電圧などによって本製品が故障、損傷した場合。

(6) 消耗、カビ、腐食、変色などの自然におこる現象によって本製品が故障、損傷した場合。

(7) 本製品の改造や備品交換など、（使用者の責任と認められる状況）によって、本製品が故障、損傷した場合。

(8) ハードディスク、CD、DVD などのデータ損傷破損に対しては、いかなる場合においても一切保証はしておりません。

(9) ケーブルなどの消耗品の交換や返品は一切しておりません。

(10) 本製品と特定の機器やソフトウエアーとの間で生じるトラブルは一切保証はいたしておりません。

(11) 本製品の使用、または使用不可のから生じた利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害に対して当社は一切損失を負わないものといたします。

(12) 本保証書は、以上の条件に基づき本製品に対しての補償をおこなうものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(13) 本製品は、ご家族や個人で使用するものです。業務用、また屋外などの過酷な条件下でのご使用には適しておりません。過酷な条件下でのご使用による製品保証はいたしておりません。

保証書

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本保証書は、本製品に対してのみ保証をおこなうものです。
本保証書に記入漏れがございますと、保証の対象外となります。下記の記入欄に記入漏れがございませんよう、必ずご確認ください。記入漏れや誤りのある場合には、直ちにお買上げの販売店へお申し出ください。
本保証書は再発行しておりませんので、紛失なさらないよう保管して下さい。

RiJAPAN
アールアイジャパン株式会社
本社：大分県大分市原新町 181 番地
サポートセンター　☎0120-688-843
TEL：097-551-3422　FAX：097-551-0948
http://www.rijapan.co.jp

製品型式：RCC9801	保証期間：お買上げ日より１年間
お買上げ日：　　年　　月　　日	
お買上げ販売店 印	
お客様記入欄	フリガナ お名前：
	ご住所：
	TEL：